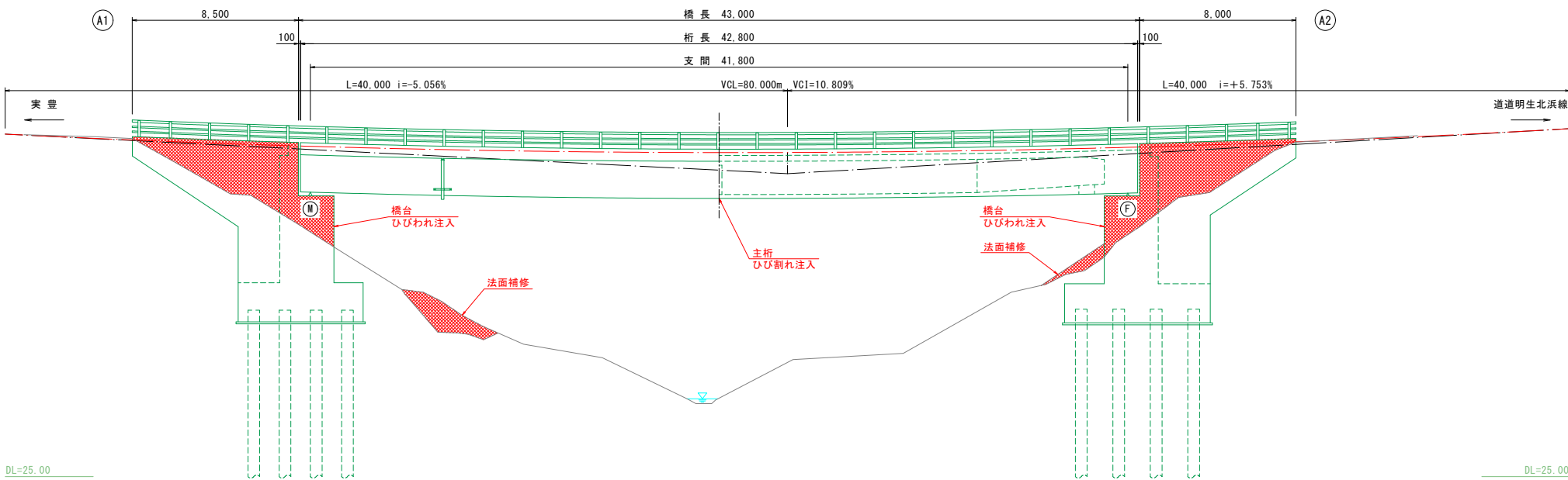


補修一般図

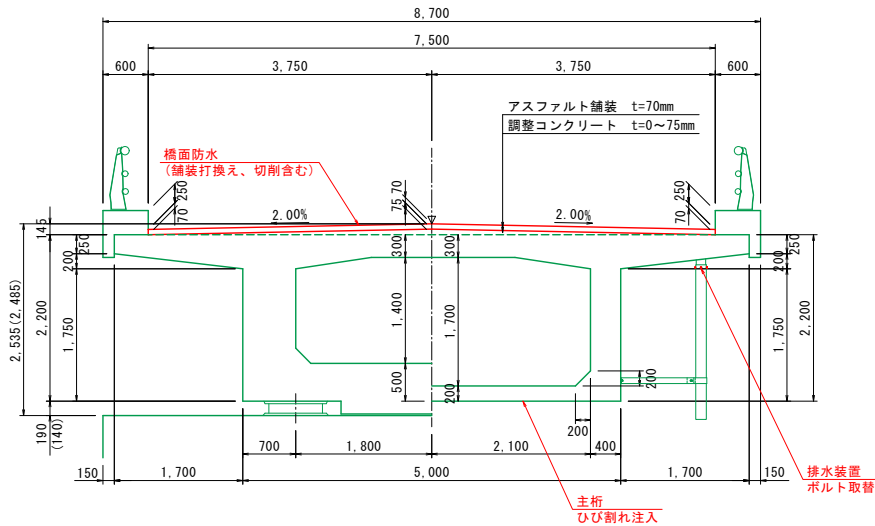
側面図

S=1:150



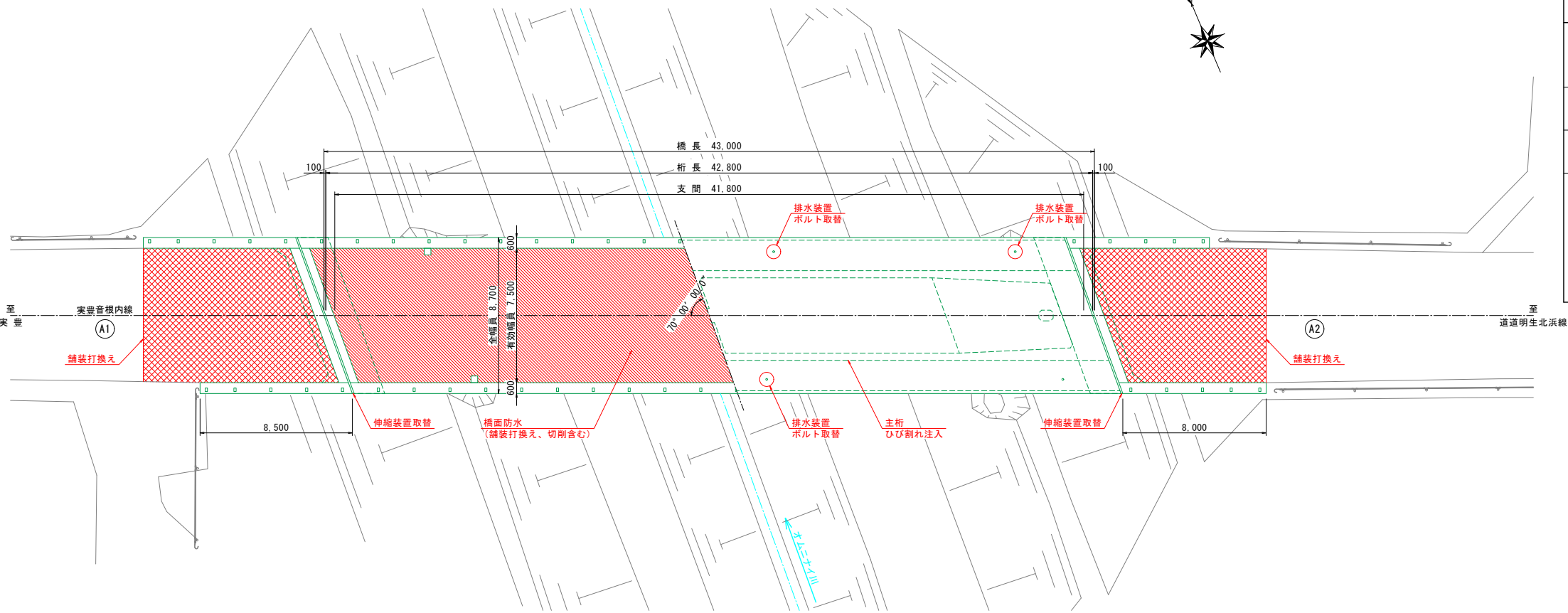
断面図

S=1:50



平面図

S=1:150



補修項目一覧

部位	部材	損傷	対策工法	備考
上部工	主桁	ひびわれ・剥離・遊離石灰	ひびわれ注入	
	横桁	ひびわれ	ひびわれ注入	
	床版	損傷なし	経過観察	
下部工	A1	ひびわれ・遊離石灰	ひびわれ注入	
	A2	ひびわれ・遊離石灰	ひびわれ注入	
支承	本体	損傷なし	経過観察	
	モルタル	損傷なし	経過観察	
その他	伸縮装置	欠損・漏水	伸縮装置取替	
	防護柵	変形	経過観察	
	地覆	欠損・鉄筋露出	経過観察	
	排水装置	欠損・変形(ボルト破断)、排水下侵食	ボルト取替・法面補修	
	舗装	舗装の異常	舗装打換え・橋面防水	
	落橋防止装置	定着部の異常(腐食)	経過観察	

※注記

- ・本図面は、現地踏査より復元した図面であり、一部推定値も含まれている。
- ・施工にあたっては再計測を実施し、既設構造寸法を確認すること。

橋梁名：ポント沢橋

年度	令和6年度		
路線名	実豊音根内線		
工事名	ポント沢橋補修設計委託		
図面名	補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 21
作成年月	令和6年12月		
会社名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網走市役所		

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	上 部 工 補 修 図 (1) (主桁外面)		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 21
作成年月	令和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコン		
事業者名	網 走 市 役 所		

橋梁名：ポント沢橋

上部工補修図(1)
(主桁外面)

凡 例

ひびわれ 幅0. 20mm以上

" 幅0. 10mm以上0. 20mm未満

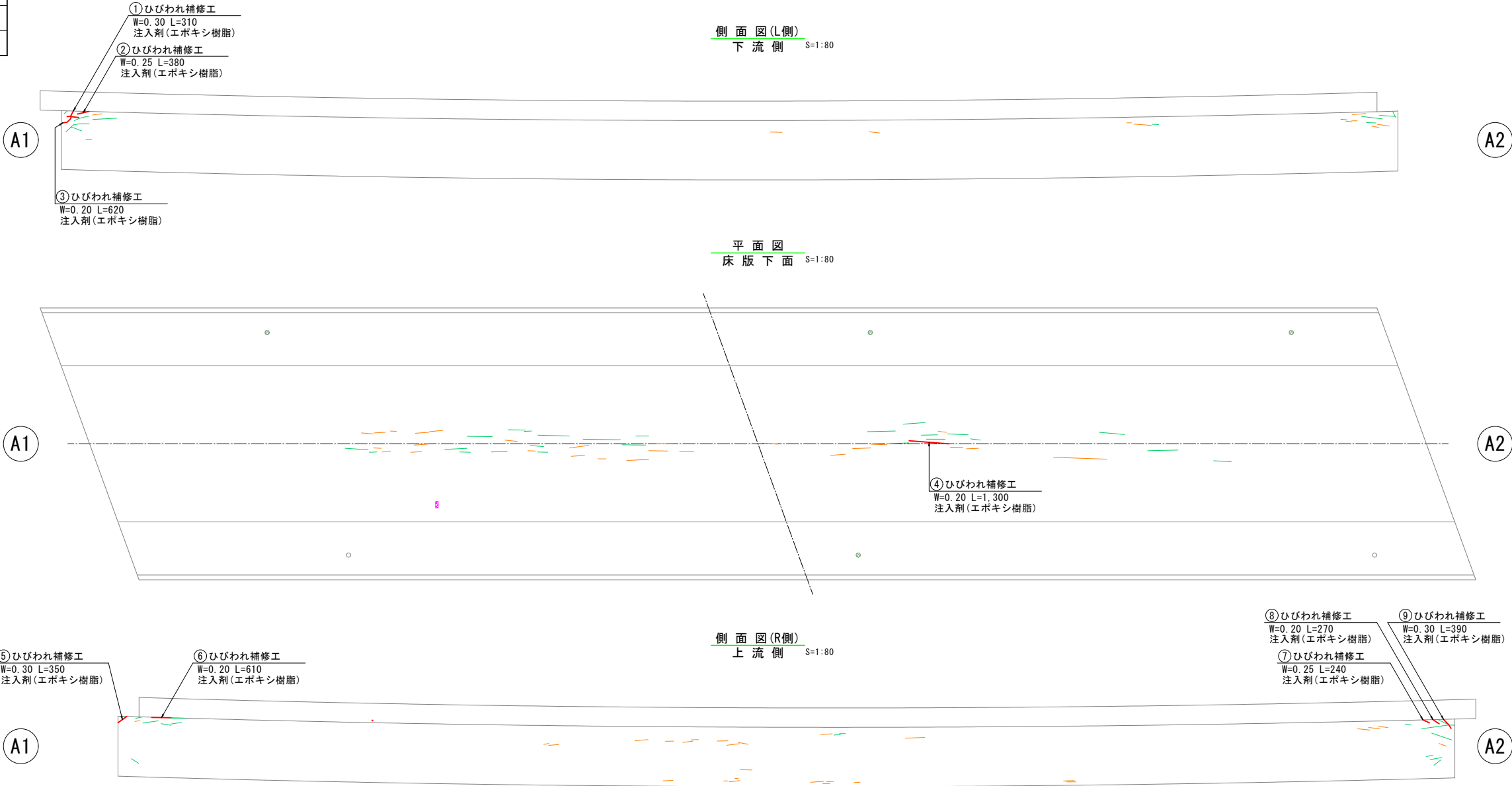
" 幅0. 10mm未満

遊離石灰

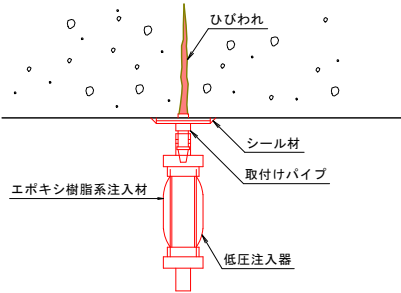
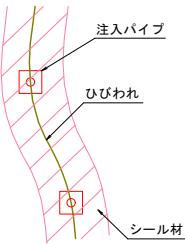
剥離・浮き

その他

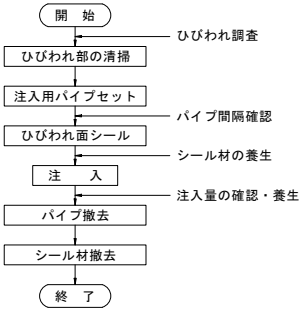
注) 漏水は伸縮装置からの漏水を含む



低圧注入工法 標準詳細図



施 工 手 順



適用範囲：ひびわれ幅(W) W=0. 2mm以上

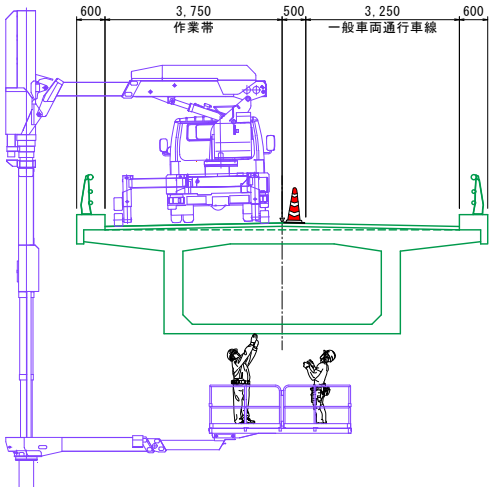
ひびわれ注入工 延長 数量表

番 号	ひびわれ幅 (mm) ・ 延長 (m)			備 考
	W=0. 20	W=0. 25	W=0. 30	
①			0. 31	エポキシ樹脂 (自動式低圧注入)
②		0. 38		
③	0. 62			
④	1. 30			
⑤			0. 35	
⑥	0. 61			
⑦		0. 24		
⑧	0. 27			
⑨			0. 39	
計	2. 80	0. 62	1. 05	

※注入器は25cmに1本の割合を標準値とする。

片側交互通行

④ ひびわれ補修時 S=1: 80



注 意 事 項

- 施工前に現地状況の確認・計測を実施し、詳細寸法などを決定すること。
また、図中に記載する以外のひびわれが確認された場合には、監督員と協議のうえ適宜補修対象とすること。
- 施工時の外気温が5℃を下回る場合には、監督員と協議のうえ補修対象範囲の防寒養生を行うか、または使用材料の検討を行うこと。
- エポキシ樹脂は、接着性低下のため湿潤面での使用は避けること。
- 注入口は25cm間隔程度とし、ひびわれ注入材が拡散が重複するようにする。
また、ひびわれの状況に応じて間隔を狭めることを検討すること。
- 注入はひびわれの下から上の順に注入することを基本とする。
- ひびわれ表面が折出物が塞がれている場合には、ひびわれに対して直角に切れ目(クロスカット)を入れて充填しやすくする対策を行うこと。

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	上 部 工 補 修 図 (2) (主桁内面-1)		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 21
作成年月	令和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網 走 市 役 所		

橋梁名：ポント沢橋

上部工補修図(2)
(主桁内面-1)

凡 例

ひびわれ 幅0.20mm以上

" 幅0.10mm以上0.20mm未満

" 幅0.10mm未満

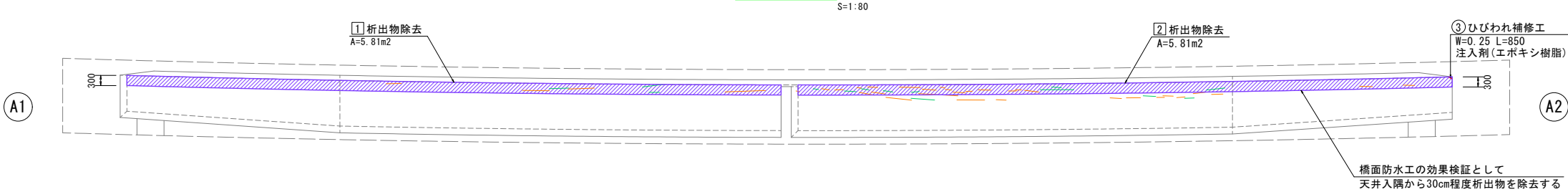
遊離石灰

剥離・浮き

その他

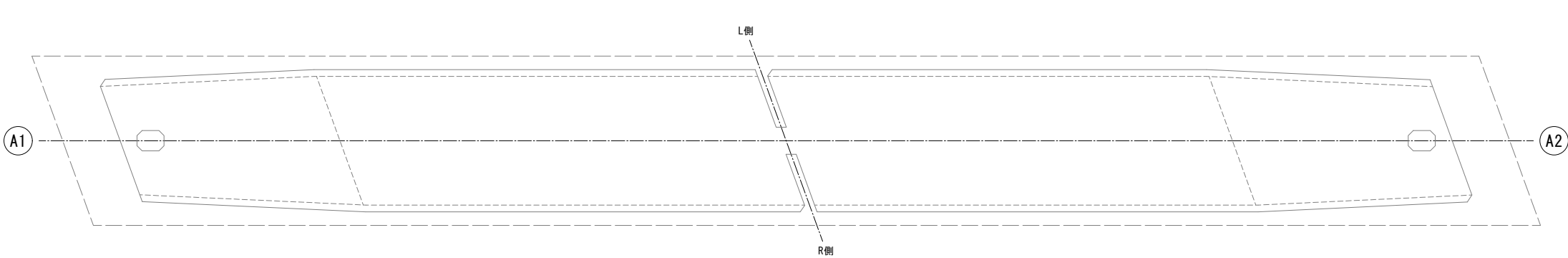
注) 漏水は伸縮装置からの漏水を含む

側面図(L側)



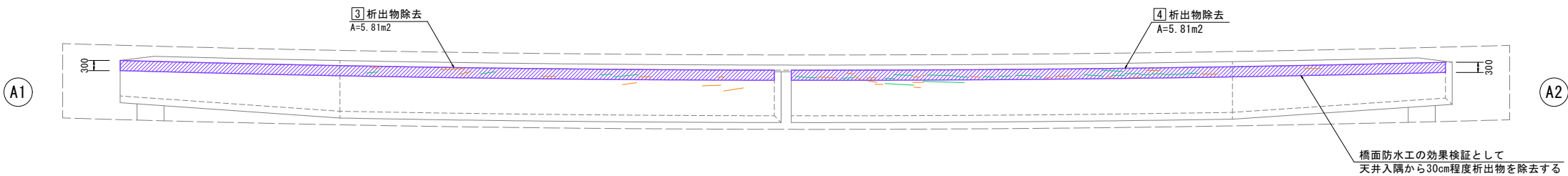
平面図

箱内床面 S=1:80



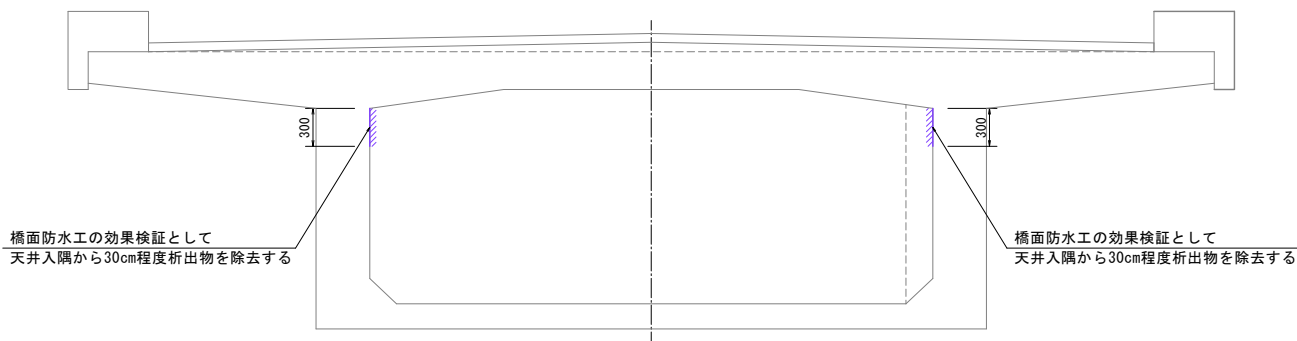
側面図(R側)

S=1:80

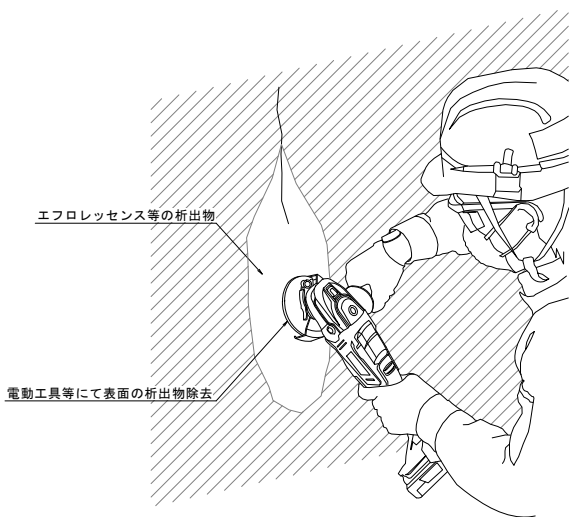


断面図

S=1:30



析出物除去工



析出物除去の施工手順(参考)

- 事前調査
- ・・・析出物を伴うひびわれの状況を確認し、施工範囲を決定する。
- 析出物の除去
- ・・・ワイヤーブラシ、電動サンダー等を使用して析出物を除去する。

注意事項

- 本図面は、現地踏査より復元した図面であり、一部推定値も含んでいる。
- 施工にあたっては再計測を実施し、既設構造寸法を確認すること。
- 析出物除去工は、析出部を対象とし、サンダーケレン等をを用い表面の析出物を除去する程度まで行うこと。
- 箱桁内部の酸素等の濃度を事前に確認し、十分な換気を行い、必要な安全措置を講ずること。
- 箱桁内部の作業においては、防塵マスク・換気設備等の粉塵作業の予防を行うこと。

年 度	令 和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	上 部 工 補 修 図 (3) (主桁内面-2)		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 21
作成年月	令 和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網 走 市 役 所		

橋梁名：ポント沢橋

上部工補修図(3)
(主桁内面-2)

凡 例

ひびわれ 幅0.20mm以上

" 幅0.10mm以上0.20mm未満

" 幅0.10mm未満

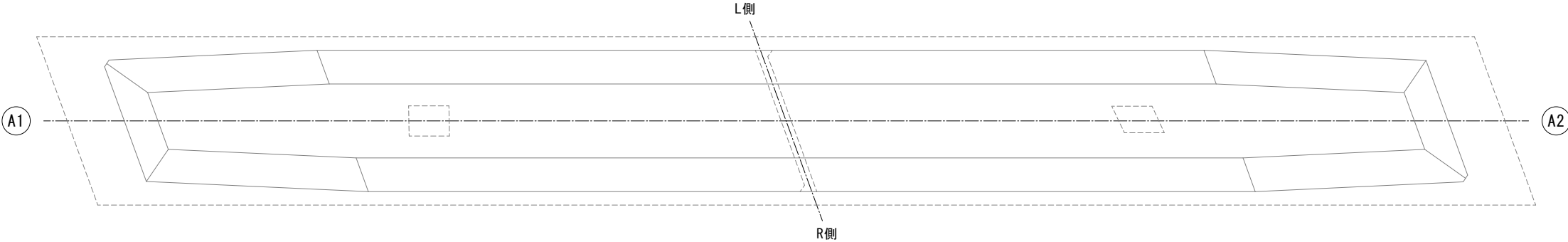
遊離石灰

剥離・浮き

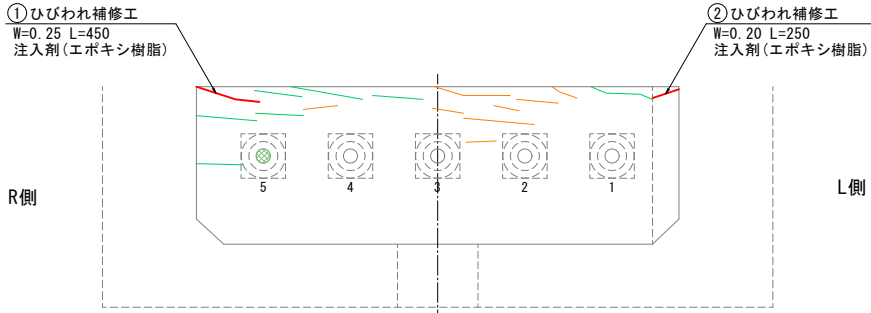
その他

注) 漏水は伸縮装置からの漏水を含む

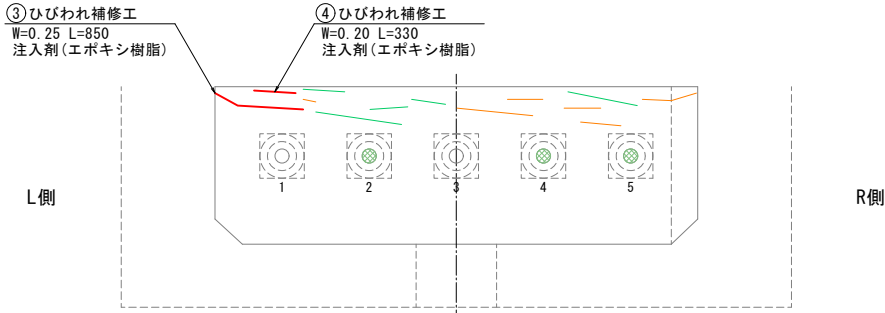
平面図
箱内天井面 S=1:80



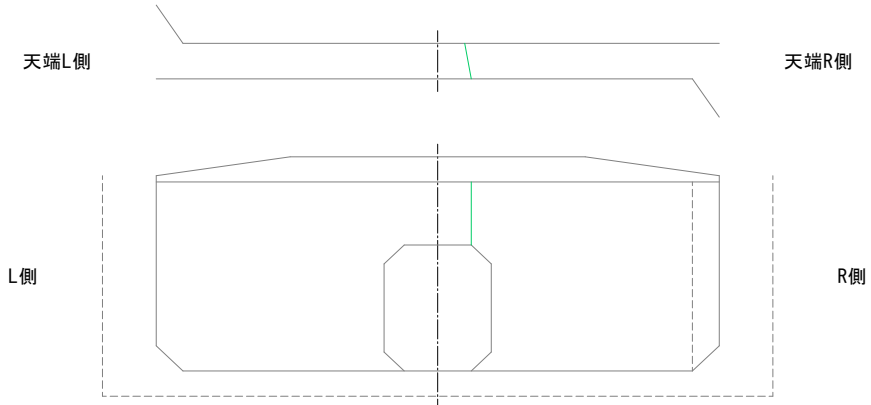
断面図
端部 A 1 側 S=1:30



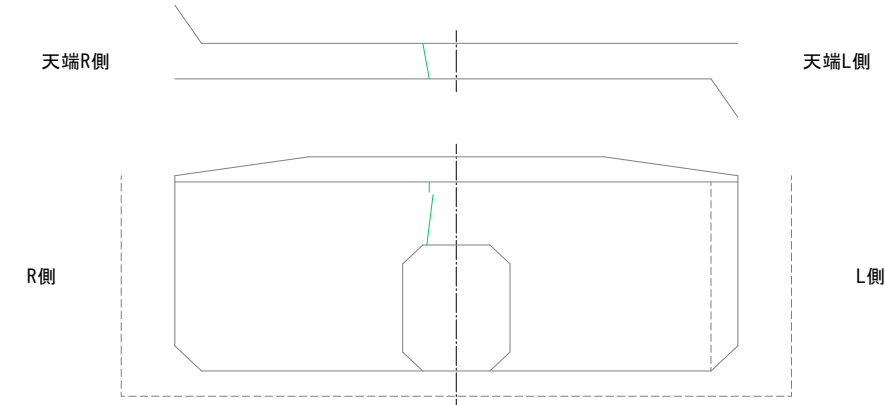
断面図
端部 A 2 側 S=1:30



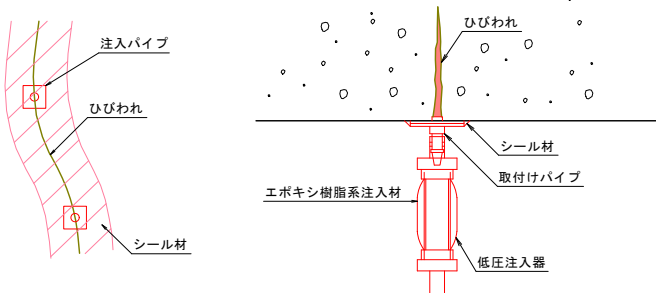
断面図
隔壁 A 1 側 S=1:30



断面図
隔壁 A 2 側 S=1:30



低圧注入工法 標準詳細図



施 工 手 順

開始

ひびわれ調査

ひびわれ部の清掃

注入用パイプセット

パイプ間隔確認

ひびわれ面シール

シール材の養生

注 入

注入量の確認・養生

パイプ撤去

シール材撤去

終了

適用範囲：ひびわれ幅 (W) W=0.2mm以上

ひびわれ注入工 延長 数量表

番 号	ひびわれ幅 (mm) ・ 延長 (m)			備 考
	W=0.20	W=0.25	W=0.30	
①		0.45		エポキシ樹脂 (自動式低圧注入)
②	0.25			
③		0.85		
④	0.33			
計	0.58	1.30		

※注入器は25cmに1本の割合を標準値とする。

注 意 事 項

- 施工前に現地状況の確認・計測を実施し、詳細寸法などを決定すること。
また、図中に記載する以外のひびわれが確認された場合には、監督員と協議のうえ適宜補修対象とすること。
- 施工時の外気温が5℃を下回る場合には、監督員と協議のうえ補修対象範囲の防寒養生を行うか、または使用材料の検討を行うこと。
- エポキシ樹脂は、接着性低下のため湿潤面での使用は避けること。
- 注入口は25cm間隔程度とし、ひびわれ注入材が拡散が重複するようにする。
また、ひびわれの状況に応じて間隔を狭めることを検討すること。
- 注入はひびわれの下から上の順に注入することを基本とする。
- ひびわれ表面が折出物に塞がれている場合には、ひびわれに対して直角に切れ目(クロスカット)を入れて充填しやすくする対策を行うこと。

下部工補修図(1)
(A1)

※ 下部工のひびわれについては、幅0.2mm以上を補修対象とする。

凡 例

ひびわれ 幅0.20mm以上

" 幅0.20mm未満

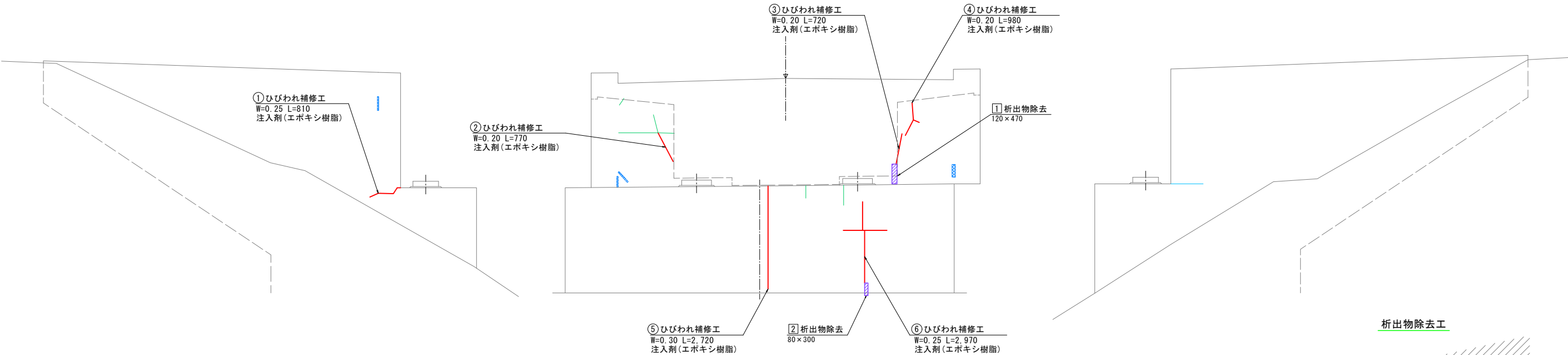
ひびわれを伴う遊離石灰

遊離石灰

側面図
上流側(R側) S=1:50

正面図
S=1:50

側面図
下流側(L側) S=1:50

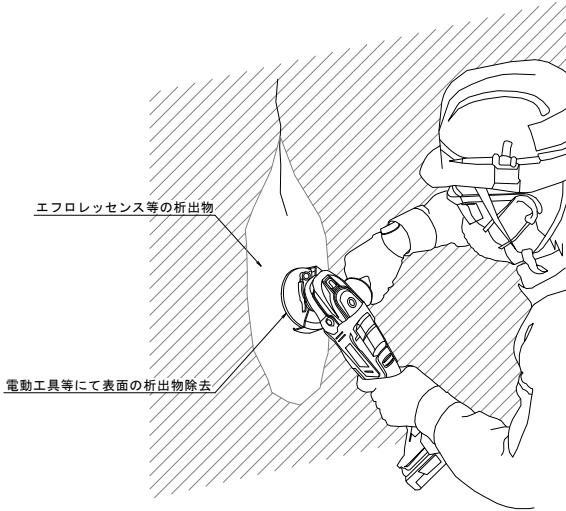


平面図
S=1:50

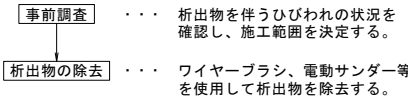
R側

L側

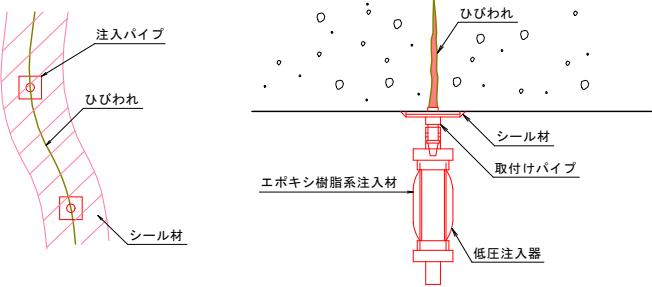
析出物除去工



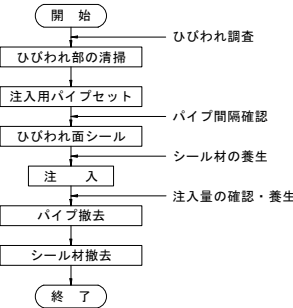
析出物除去の施工手順(参考)



低圧注入工法 標準詳細図



施工手順



適用範囲：ひびわれ幅(W) W=0.2mm以上

ひびわれ注入工 延長 数量表

番号	ひびわれ幅(mm)・延長(m)			備 考
	W=0.20	W=0.25	W=0.30	
①		0.81		エポキシ樹脂 (自動式低圧注入)
②	0.77			
③	0.72			
④	0.98			
⑤			2.72	
⑥		2.97		
計	2.47	3.78	2.72	

※注入器は25cmに1本の割合を標準値とする。

注 意 事 項

- 施工前に現地状況の確認・計測を実施し、詳細寸法などを決定すること。
また、図中に記載する以外のひびわれが確認された場合には、監督員と協議のうえ適宜補修対象とすること。
- 施工時の外気温が5℃を下回る場合には、監督員と協議のうえ補修対象範囲の防寒養生を行うか、または使用材料の検討を行うこと。
- エポキシ樹脂は、接着性低下のため湿潤面での使用は避けること。
- 注入口は25cm間隔程度とし、ひびわれ注入材が拡散が重複するようにする。
また、ひびわれの状況に応じて間隔を狭めることを検討すること。
- 注入はひびわれの下から上の順に注入することを基本とする。
- ひびわれ表面が析出物に塞がれている場合には、ひびわれに対して直角に切れ目(クロスカット)を入れて充填しやすくする対策を行うこと。
- 析出物除去工は、析出部を対象とし、サンダーケレン等を用い表面の析出物を除去する程度まで行うこと。

橋梁名：ポント沢橋

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	下 部 工 補 修 図 (1) (A1)		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 21
作成年月	令和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網 走 市 役 所		

下部工補修図(2)
(A2)

※ 下部工のひびわれについては、幅0.2mm以上を補修対象とする。

凡 例

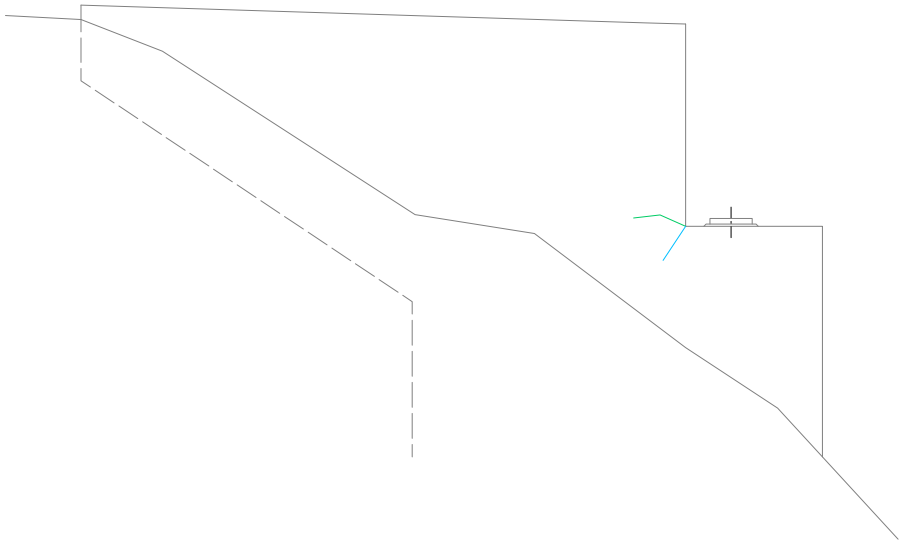
ひびわれ 幅0.20mm以上

" 幅0.20mm未満

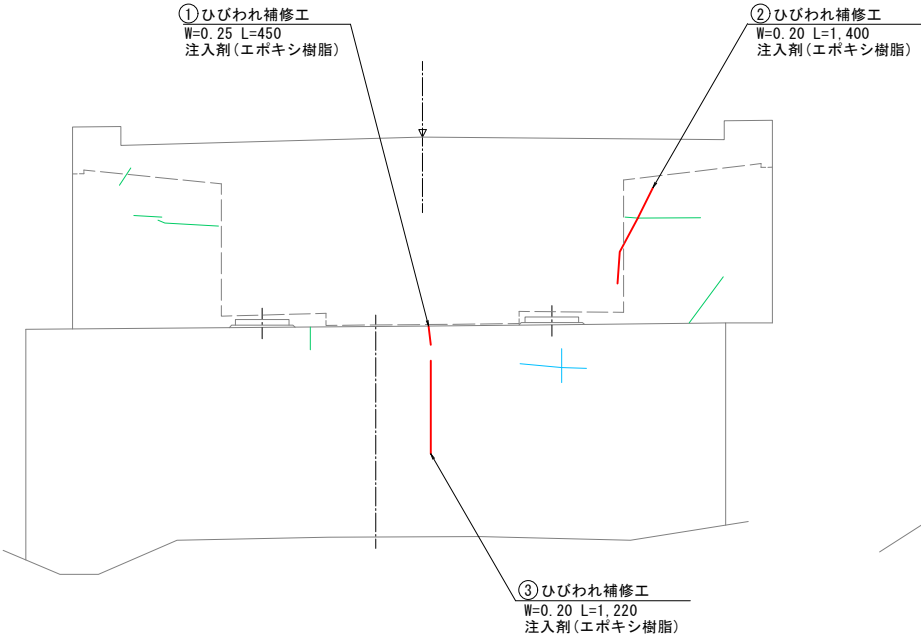
ひびわれを伴う遊離石灰

遊離石灰

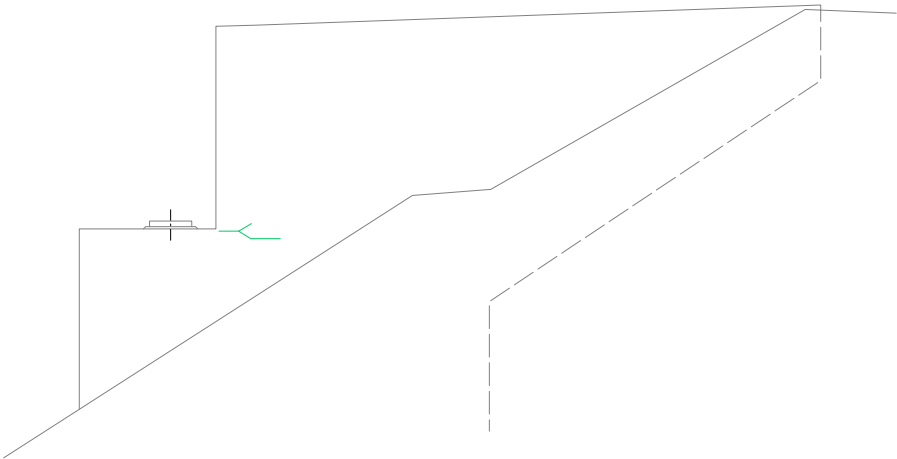
側面図
下流側(L側) S=1:50



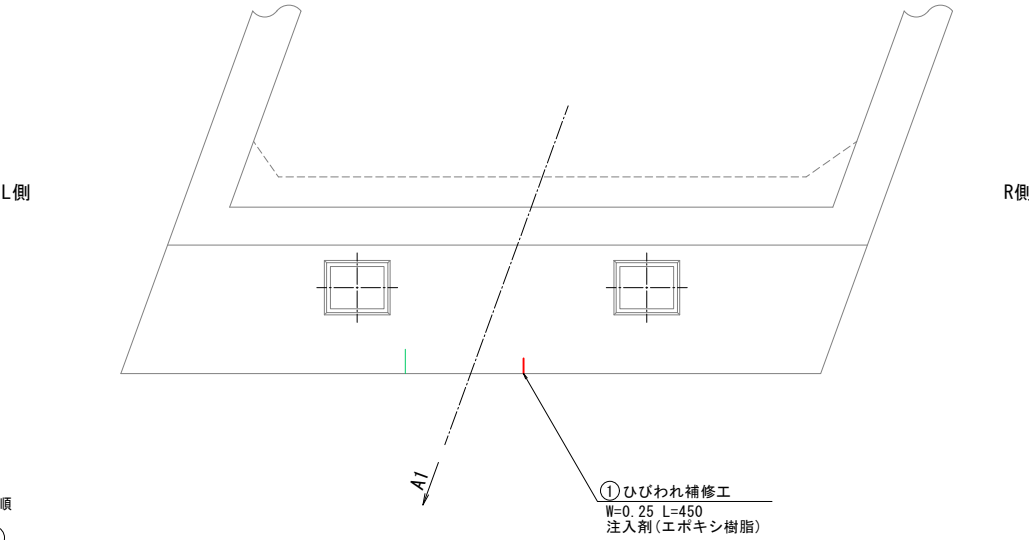
正面図
S=1:50



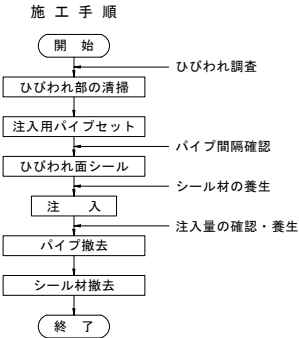
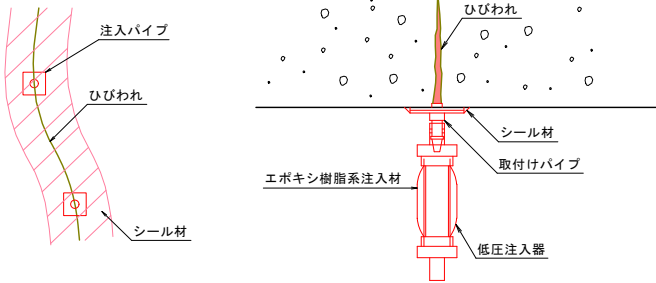
側面図
上流側(R側) S=1:50



平面図
S=1:50



低圧注入工法 標準詳細図



適用範囲：ひびわれ幅(W) W=0.2mm以上

ひびわれ注入工 延長 数量表

番 号	ひびわれ幅 (mm) ・ 延長 (m)			備 考
	W=0.20	W=0.25	W=0.30	
①		0.45		エポキシ樹脂 (自動式低圧注入)
②	1.40			
③	1.22			
計	2.62	0.45		

※注入器は25cmに1本の割合を標準値とする。

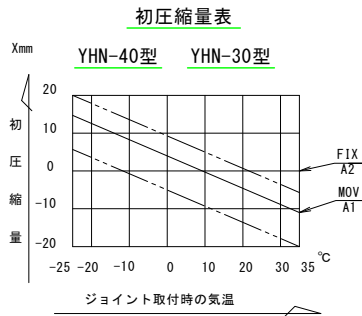
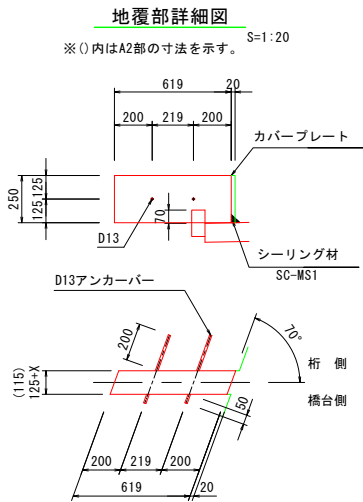
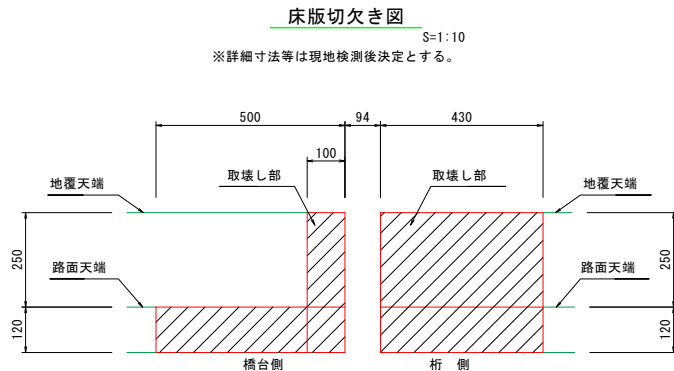
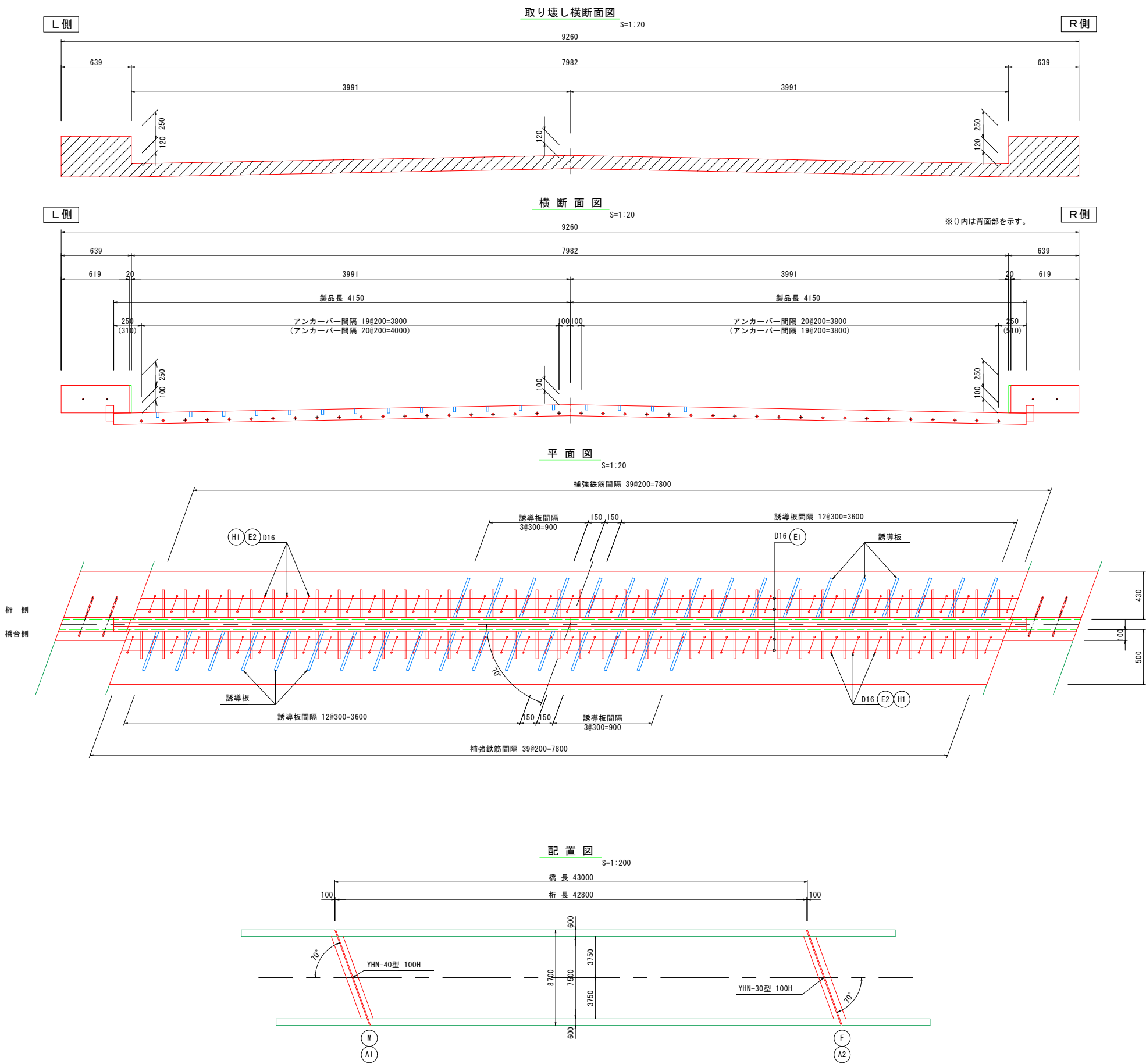
注 意 事 項

1. 施工前に現地状況の確認・計測を実施し、詳細寸法などを決定すること。
また、図中に記載する以外のひびわれが確認された場合には、監督員と協議のうえ適宜補修対象とすること。
2. 施工時の外気温が5℃を下回る場合には、監督員と協議のうえ補修対象範囲の防寒養生を行うか、または使用材料の検討を行うこと。
3. エポキシ樹脂は、接着性低下のため湿潤面での使用は避けること。
4. 注入口は25cm間隔程度とし、ひびわれ注入材が拡散が重複するようにする。
また、ひびわれの状況に応じて間隔を狭めることを検討すること。
5. 注入はひびわれの下からの順に注入することを基本とする。
6. ひびわれ表面が折出物に塞がれている場合には、ひびわれに対して直角に切れ目(クロスカット)を入れて充填しやすくする対策を行うこと。

橋梁名：ポント沢橋

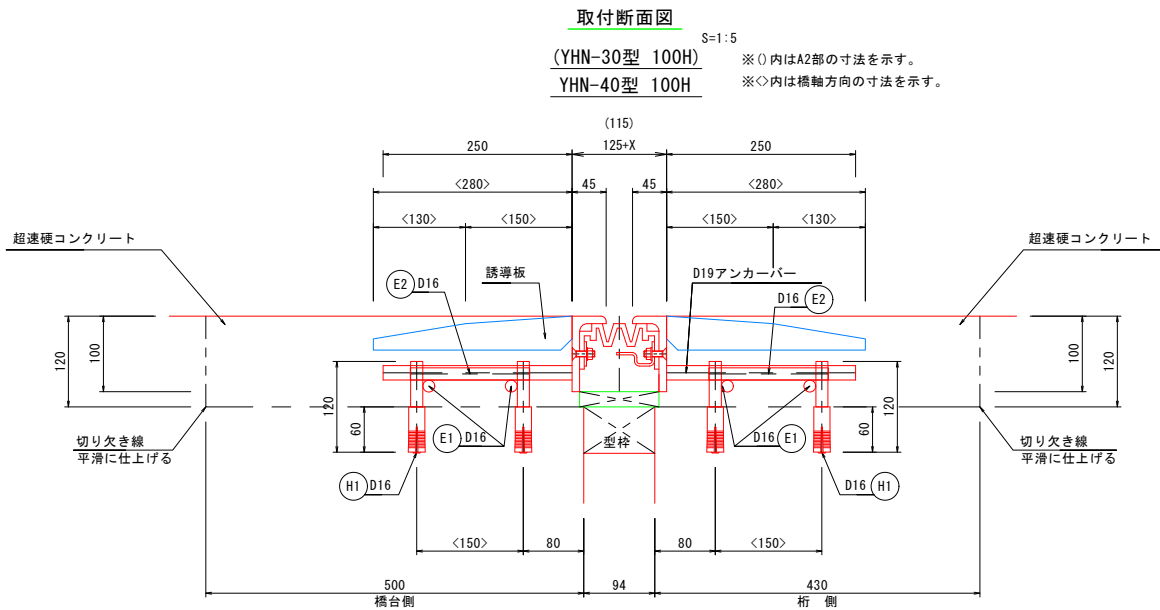
年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	下 部 工 補 修 図 (2) (A2)		
縮 尺	図 示	図面番号	6 / 21
作成年月	令和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網 走 市 役 所		

伸縮装置図(1)



橋梁名：ポント沢橋			
年度	令和6年度		
路線名	実登音根内線		
工事名	ポント沢橋補修設計委託		
図面名	伸縮装置図(1)		
縮尺	図示	図面番号	7 / 21
作成年月	令和6年12月		
会社名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網走市役所		

伸 縮 装 置 図 (2)



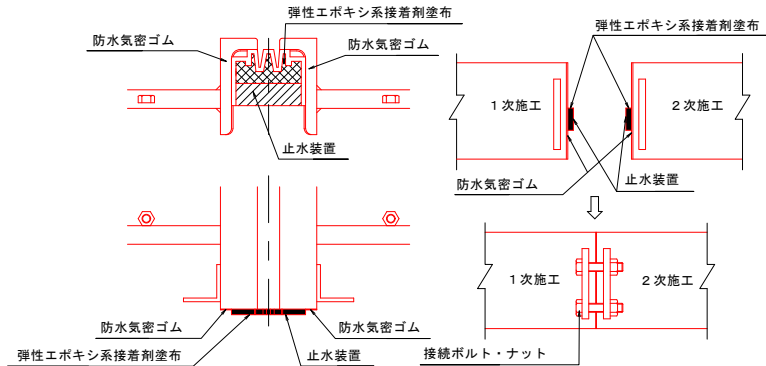
伸縮装置の現場接続方法について

※伸縮装置納入時は車道センターライン（橋梁中心）より一体化する。
（接続部の両側には止水装置が止水ゴム（伸縮ゴム）の下部に取付けられている。また、地覆側の伸縮装置端部には立上止水装置が取付けられていることに留意すること。）

1. 止水装置の全面、および立上止水装置の側板外側に弾性エポキシ系接着剤を塗布する。
2. 接続ボルトを双方の止水装置が圧着するまで左右均等に締め付ける。
3. 地覆伸縮装置を弾性エポキシ系接着剤を塗布した端部立上止水装置の上から、挟み込む様に取付け、地覆部と本体伸縮装置の接触面を点溶接した後、点溶接側の隙間部分にエポキシ系接着剤を塗布する。

※詳細は、製品付属の「施工要領書」を参照の事。

伸縮装置継手部



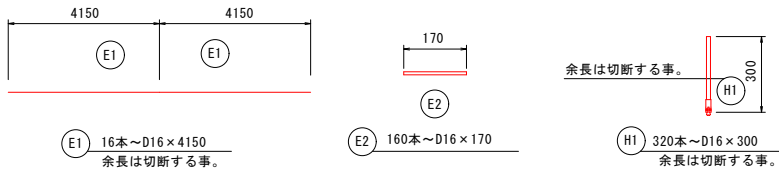
注 意 事 項

1. 施工関連諸寸法は、現地実測により決定する事。
2. 既設伸縮装置撤去の際は、床版を取り壊さないようにする事。
3. 工事発注後は現橋を十分確認の上、数量等を精査の事。

工事仕様

1. H1鉄筋は橋台・床版切欠き後、打込むこと。
2. 鉄筋の余長は切断すること。
3. 補強鉄筋の接合部は全て現場溶接とする。
4. 補強鉄筋は全て現場手配とする。
5. 地覆の重なり部はシーリングすること。
6. Xの値は初圧縮量表を参照する事。

補強鉄筋加工図



補強鉄筋材料表

適用	記号	断面	単尺	単重	1本当重量	員数	重量	備考
E1	φ	D16	4150	1.560	6.474	16	103.6	
E2	φ	D16	170	1.560	0.265	160	42.4	
H1	φ	D16	300	---	---	320	---	差筋アンカー
総重量---							146.0kg	

※上記、補強鉄筋は伸縮継手に含まない。現場手配とする。

伸縮装置材料表

型式	単尺	本数	長さ	適用	重量(平均値)
YHN-40型 100H	4150	2	8300	A1車道部	39.2kg/m
"	619	2	1238	A1地覆部	
合 計 ---			9m538		
YHN-30型 100H	4150	2	8300	A2車道部	39.0kg/m
"	619	2	1238	A2地覆部	
合 計 ---			9m538		
誘 導 板	280×45×22t		68枚		
シーリング材	SC-MS1 200ml×4ヶ所		800ml	320ml/本 3本使用	

工事数量表

切 断 (車道部t=50)	7982×2本×2ヶ所	31.93m
" (地覆部t=50)	639×2本×4ヶ所	5.11m
合 計 ---		37.04m
取壊し (車道部t=120)	7982×120×(430+500)×2ヶ所	1.78m ³
" (地覆部t=370)	639×370×(430+100)×4ヶ所	0.50m ³
合 計 ---		2.28m ³
既設伸縮装置撤去	9260×2ヶ所	18.52m
伸縮装置取付	(4150+619)×2×2ヶ所	19.08m
超速硬コンクリート (車道部t=120)	7982×120×(430+500)×2ヶ所	1.78m ³
" (地覆部t=370)	639×370×(430+100)×4ヶ所	0.50m ³
合 計 ---		2.28m ³

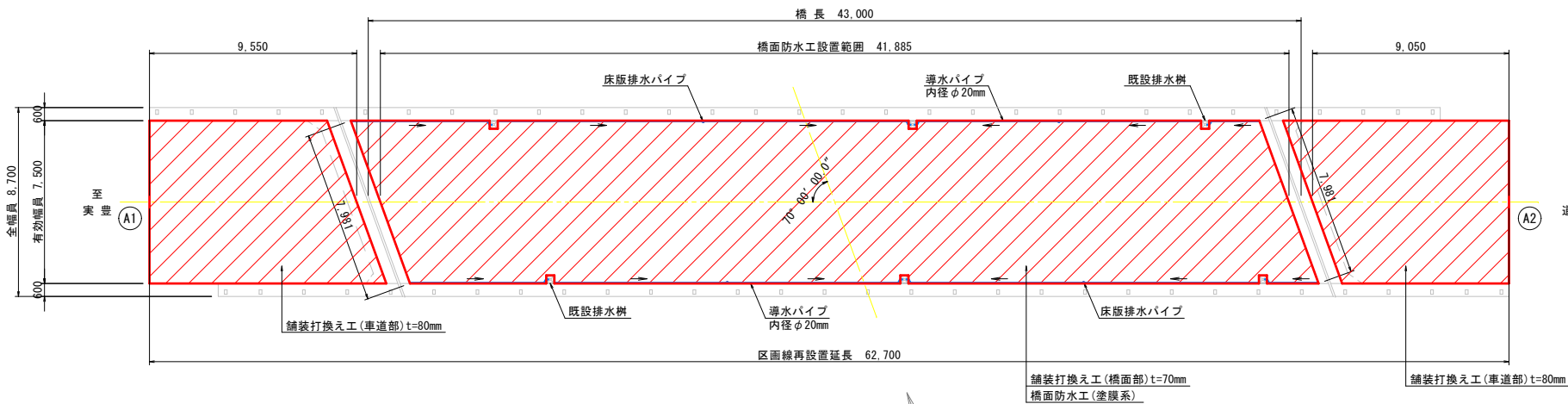
橋 梁 名 : ポント沢橋

年 度	令 和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	伸 縮 装 置 図 (2)		
縮 尺	図 示	図面番号	8 / 21
作成年月	令 和 6 年 12 月		
会 社 名	株 式 会 社 ム ラ コ シ		
事業者名	網 走 市 役 所		

橋面防水工図(1)

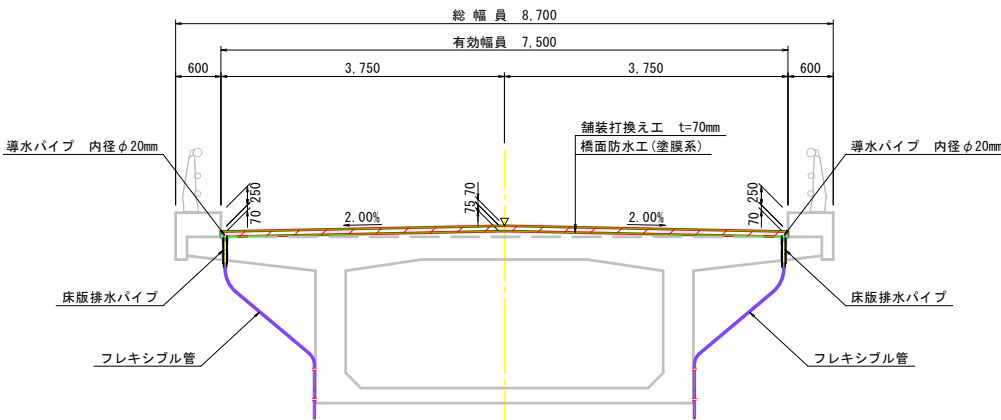
平面図

S=1:150



断面図

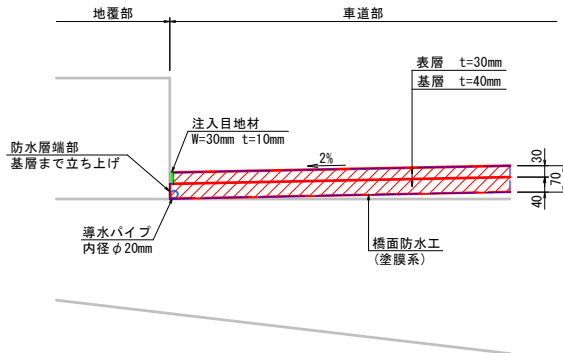
S=1:50



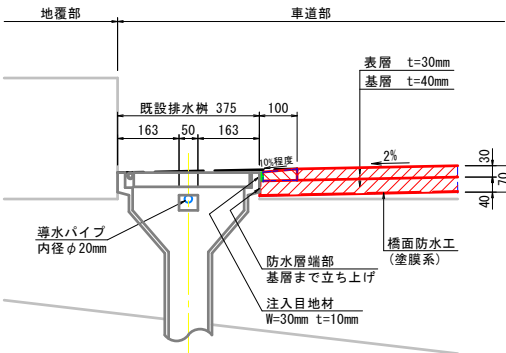
端部処理詳細図

S=1:10

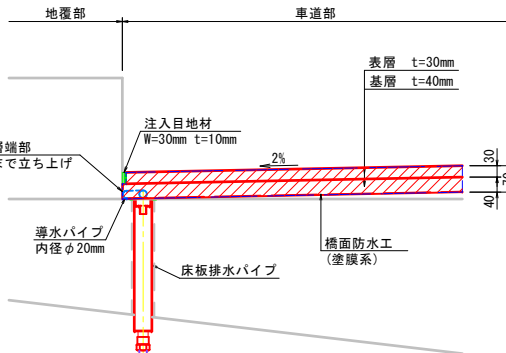
一般部



既設排水樹部

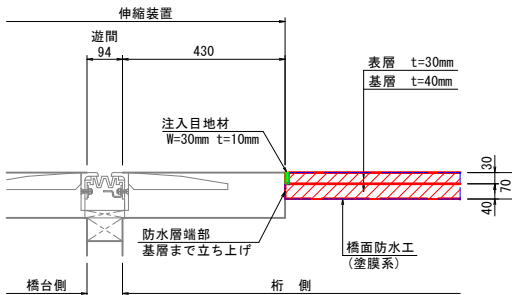


床版排水パイプ部



伸縮装置部詳細図

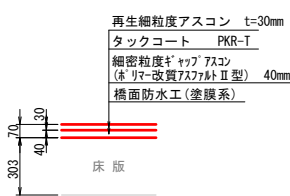
A1・A2共通



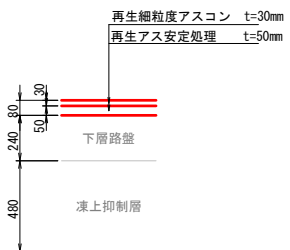
舗装構成図

S=1:20

橋面



車道部



※注記

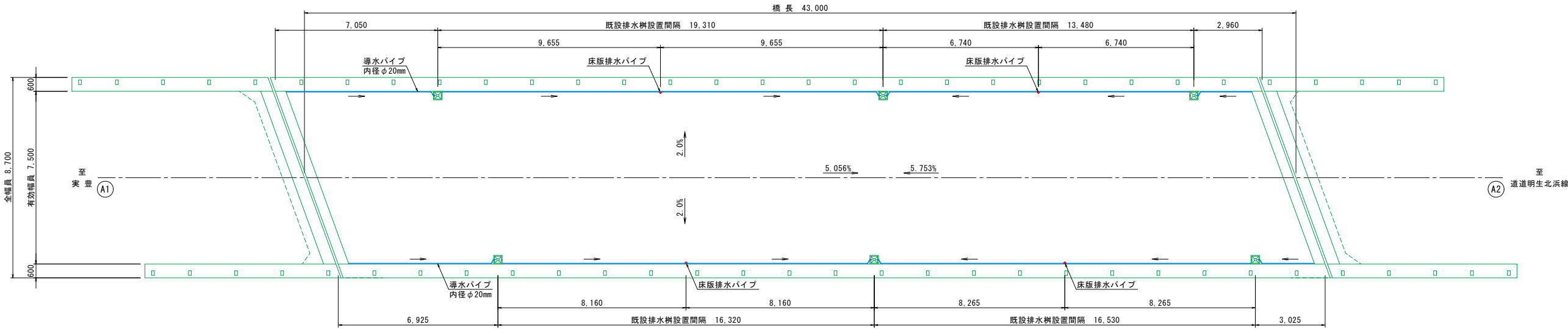
- ・本図面は、既往図書および現地計測を基に復元したものである。
- ・補修工事においては、事前に現地実測を行い再度構造寸法を確認のこと。
- ・詳細寸法は、現地確認後決定とする。
- ・排水樹寸法および位置は、事前に確認すること。
- ・舗装厚は、現況に合わせる。
- ・舗装撤去時には床版コンクリートの状態を確認し、補修が必要な場合は別途検討を行うこと。
- ・橋面防水工は、基層の天端まで立ち上げる。
- ・目地材は、アスファルト系加熱注入目地材(高弾性)を標準とする。
- ・区画線の位置は橋梁前後との整合をとること。

橋梁名：ポント沢橋

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	橋 面 防 水 工 図(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 21
作成年月	令和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網 走 市 役 所		

橋 面 防 水 工 図 (2)

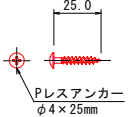
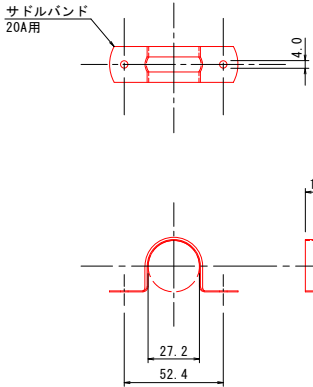
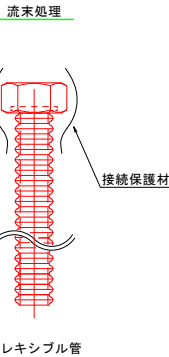
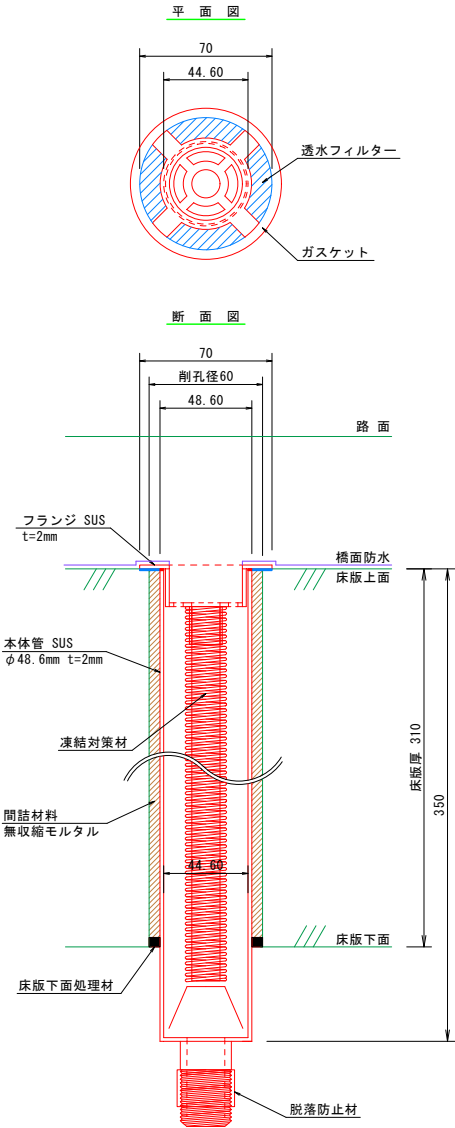
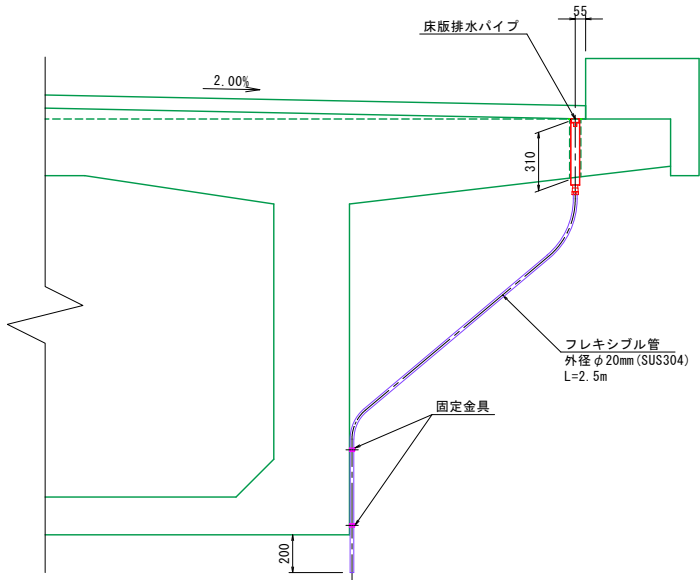
施 工 箇 所 図
(N=4箇所) S=1:100



床版排水パイプ部材詳細図
(参 考 図) S=1:2

固定金具詳細図 S=1:2

断 面 図
S=1:20



名 称	規格・寸法	数 量		備 考
		1箇所当り	4箇所当り	
床版排水パイプ本体	床版厚 300~350用 SUS304 φ48.6mm	1組	4組	
かしめ加工	袋ナット、バックシム含む	1箇所	4箇所	
フレキシブル管	SUS304 外径φ20mm	2.5m	10.0m	
サドルバンド	20A用、プレスアンカー含む	2組	8組	
間詰材	無収縮モルタル	0.0003m3	0.0012m3	

※注記

- ・本図面は、既往図書および現地計測を基に復元したものである。
- ・補修工事においては、事前に現地実測を行い再度構造寸法を確認のこと。
- ・詳細寸法は、現地確認後決定とする。
- ・排水樹寸法および位置は、事前に確認すること。
- ・コア抜き前に鉄筋探査で床版鉄筋位置を確認し、鉄筋を切断しないよう床版排水パイプ位置をずらすこと。
- ・事前調査の結果が工事遂行に影響を及ぼす懸念のある場合は、監督員と協議のうえ最終決定すること。

橋 梁 名 : ポ ン ト 沢 橋

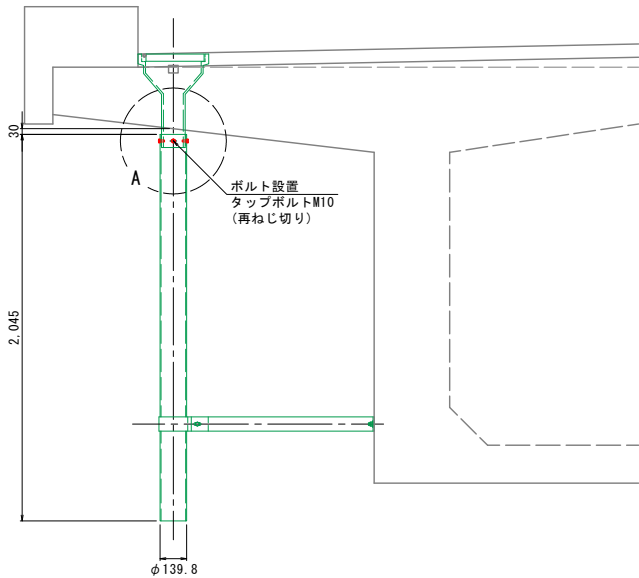
年 度	令 和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポ ン ト 沢 橋 補 修 設 計 委 託		
図 面 名	橋 面 防 水 工 図 (2)		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	10 / 21
作 成 年 月	令 和 6 年 12 月		
会 社 名	株 式 会 社 ム ラ コ シ		
事 業 者 名	網 走 市 役 所		

排水装置補修図

既設排水管取付ボルト設置

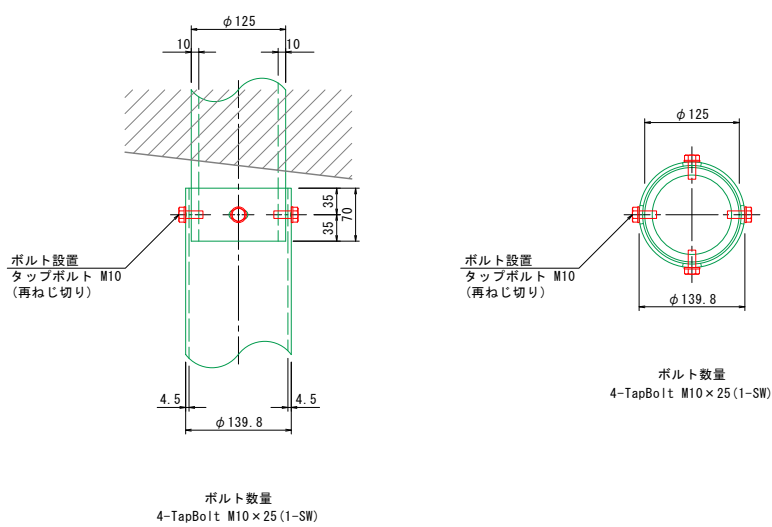
側面図

S=1:20



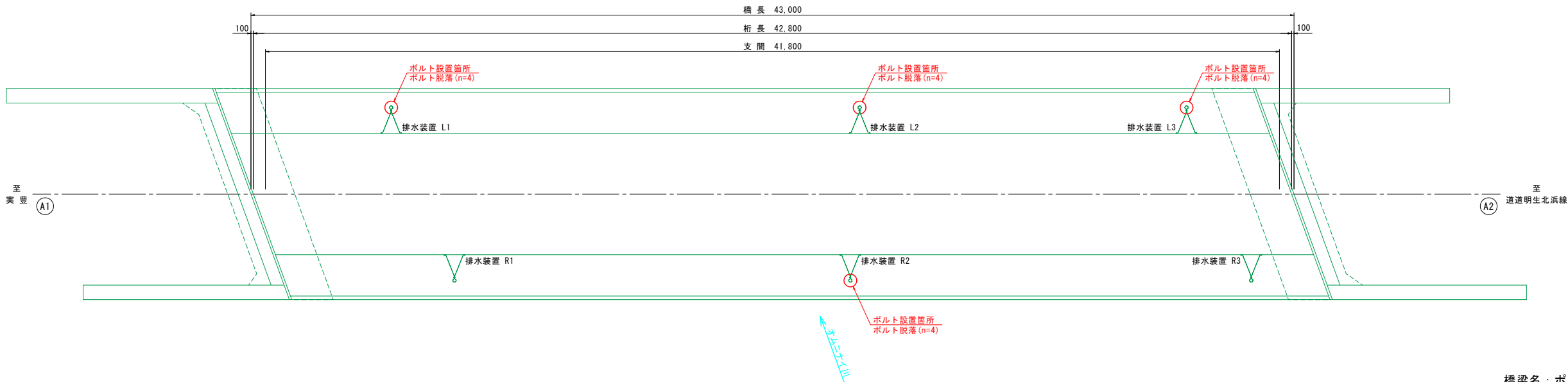
A部詳細図

S=1:5



位置図

S=1:100



※注記

- ・本図面は、現地踏査より復元した図面であり、一部推定値も含んでいる。
- ・施工にあたっては再計測を実施し、既設構造寸法を確認すること。
- ・排水管延長は桁下から200mm以上確保すること。
- ・取替(新設)部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上を施す。
亜鉛皮膜の膜厚は JIS H 8641 により
HDZ149 (膜厚49 μm以上) ……厚さ3mm以下の鋼材及びボルト・ナット類
(旧HDZ35 (350g/m²以上) ……厚さ3mm以下の鋼材及びボルト・ナット類)
- ・再調査の結果、劣化状況が進行している場合は、発注者に確認のうえ再検討を行うこと。
- ・排水管の取付けは、樹側のボルト孔に新規ボルトを固定するため、既設タップボルトは全て取り外す必要がある。
既設ボルト撤去が困難な場合には、径孔の変更やボルト位置変更等による再ねじ切りなどを別途 監督員と協議を行うこと。

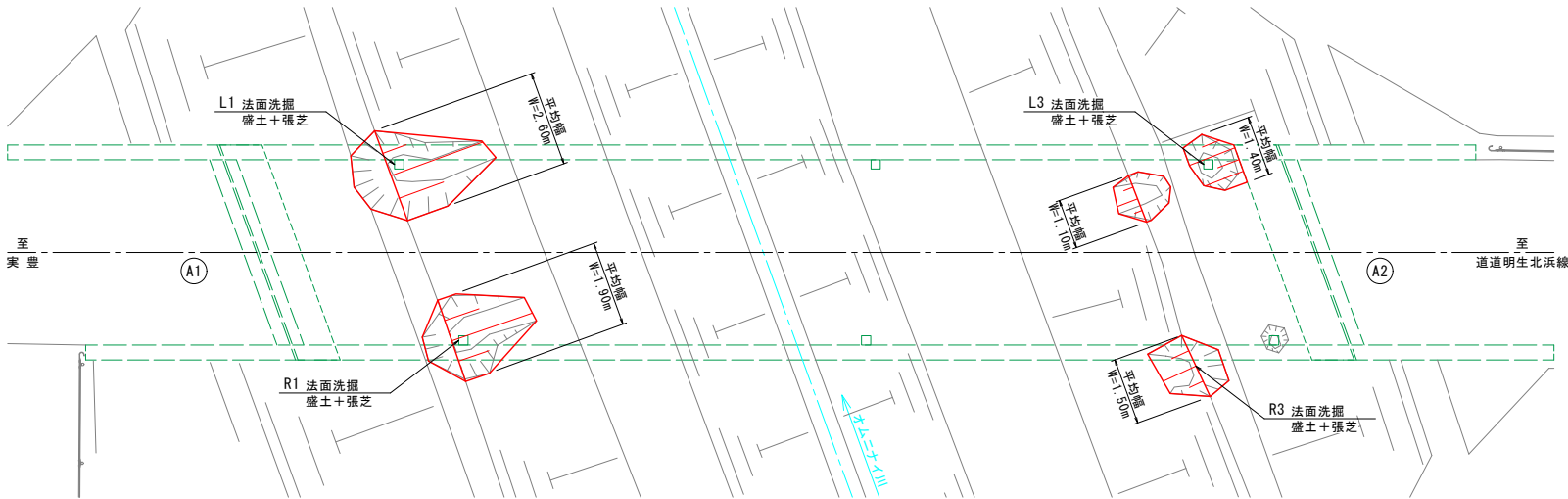
橋梁名：ポント沢橋

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	排 水 装 置 補 修 図		
縮 尺	図 示	図面番号	11 / 21
作成年月	令和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網 走 市 役 所		

法面補修工図

平面図

S=1:150

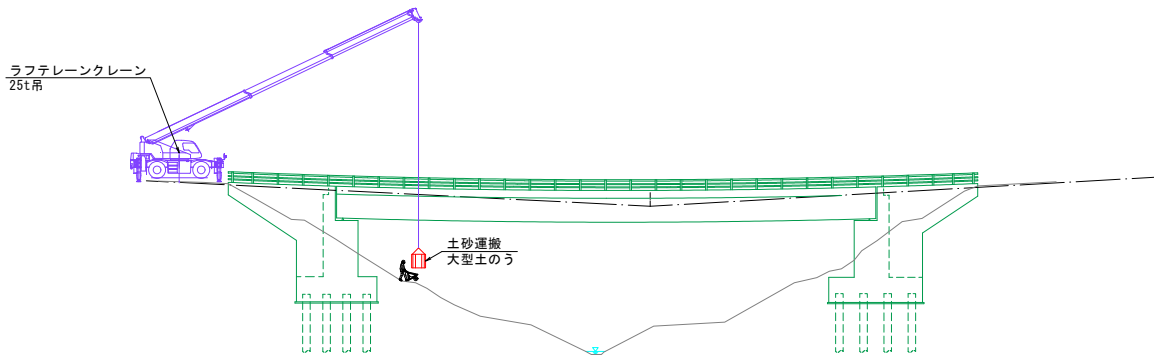


施工計画図

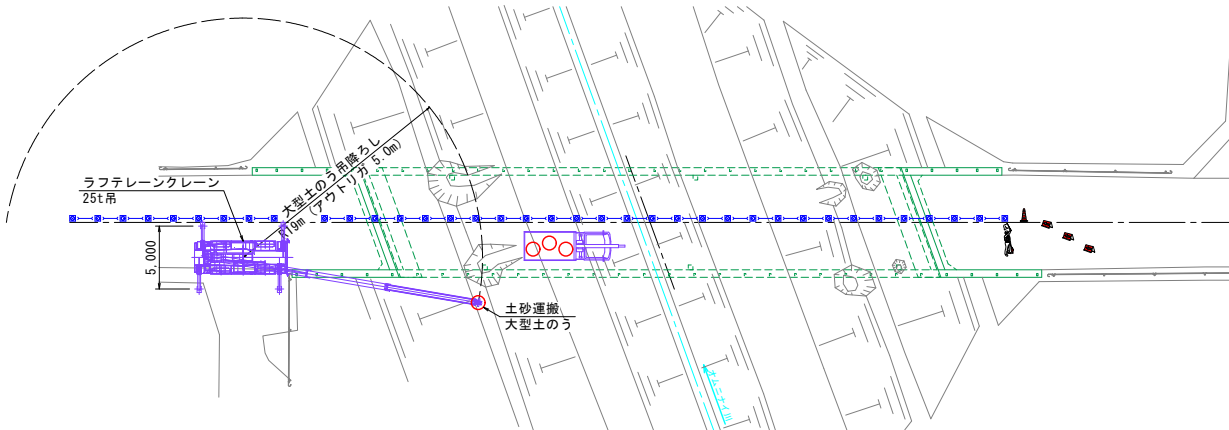
(参考図)

S=1:300

側面図

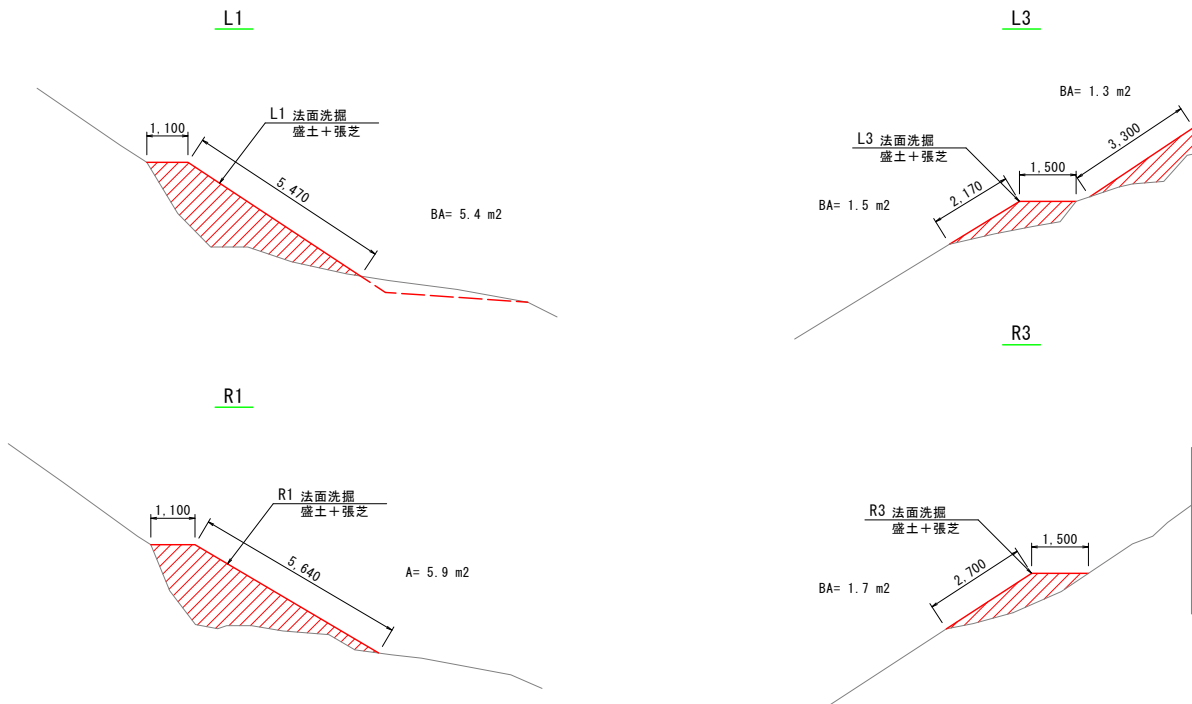


平面図



洗堀部断面図

S=1:100



※注記

- ・本図面は、既存資料及び簡易測量により作成しているが、工事実施時には洗掘状況が変化している可能性がある。施工にあたっては再計測を実施し、現況寸法を確認すること。
- ・本図面の施工計画は参考図であり、これを指定するものではない。現地状況・施工時期を勘案し、仮設計画を立案すること。

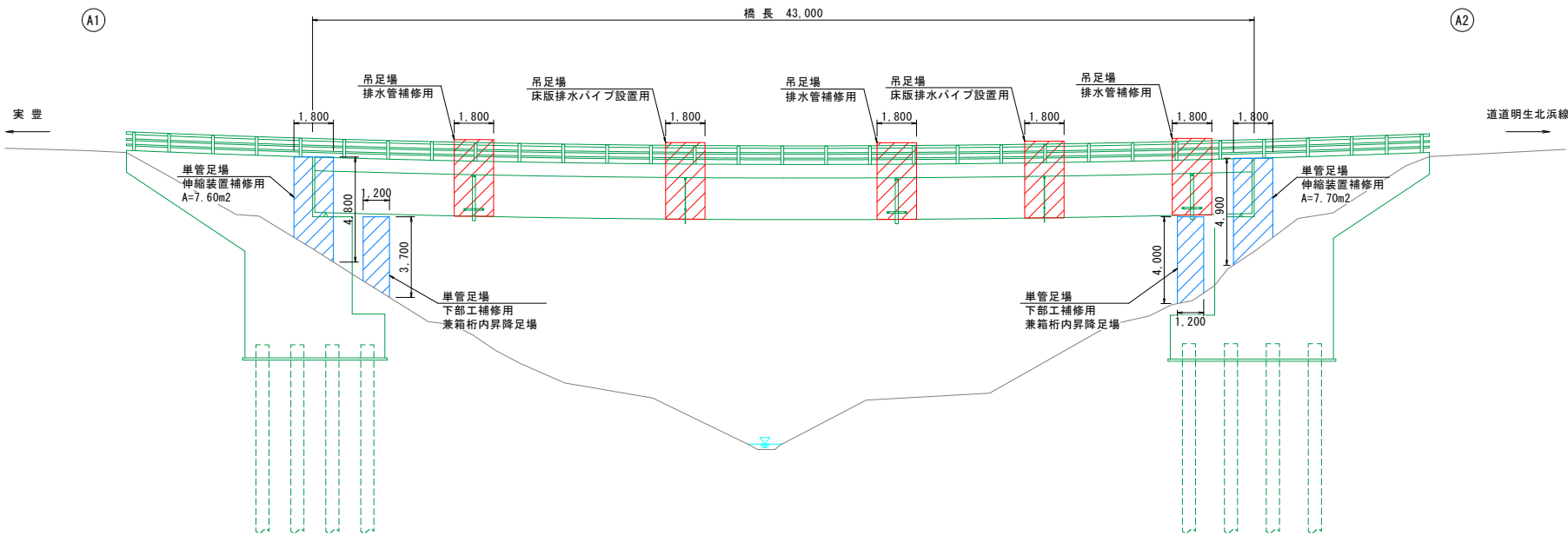
橋梁名：ポント沢橋

年度	令和6年度		
路線名	実豊音根内線		
工事名	ポント沢橋補修設計委託		
図面名	法面補修工図		
縮尺	図示	図面番号	12 / 21
作成年月	令和6年12月		
会社名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網走市役所		

仮設図
(参考図)

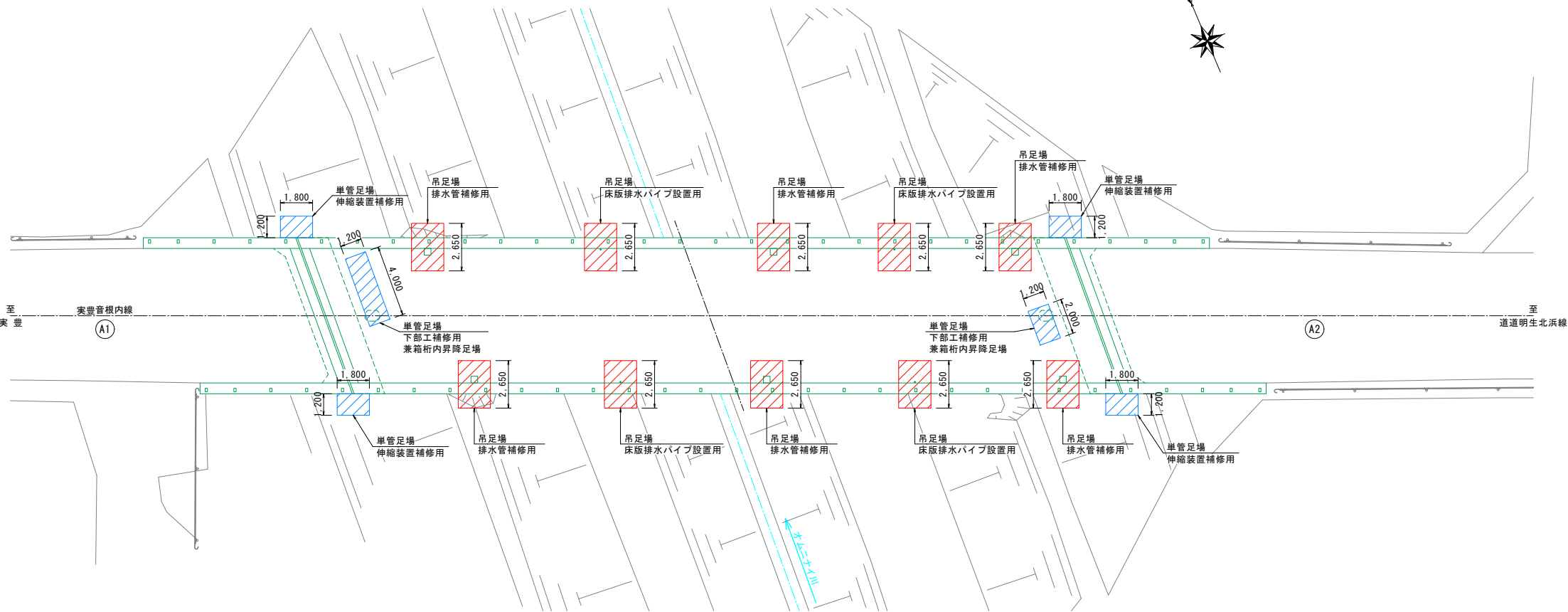
側面図

S=1:150



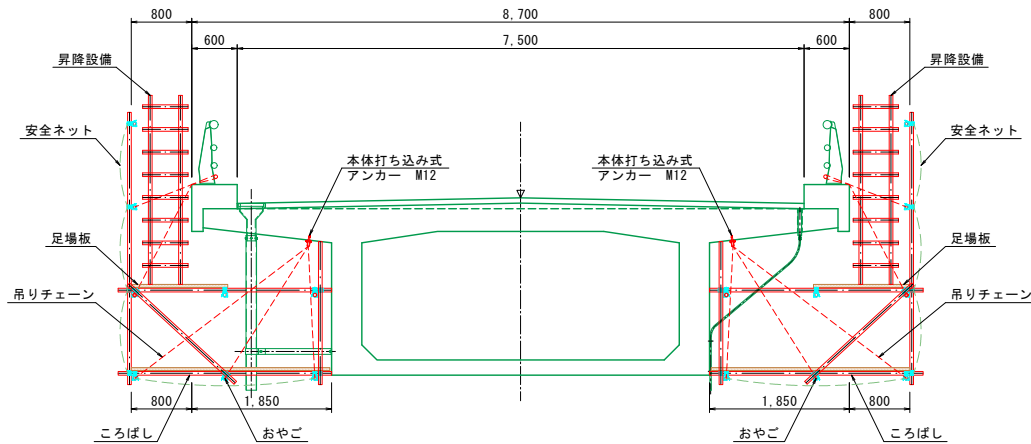
平面図

S=1:150



断面図

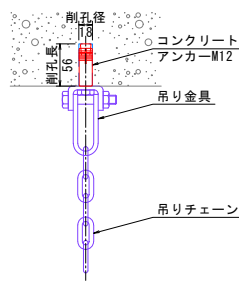
S=1:50



足場用吊り金具詳細図

(参考図)

S=1:5



※コンクリートアンカーは1.8m間隔以下に配置
1箇所(1.8m)あたり 2本
10箇所×2本=20本

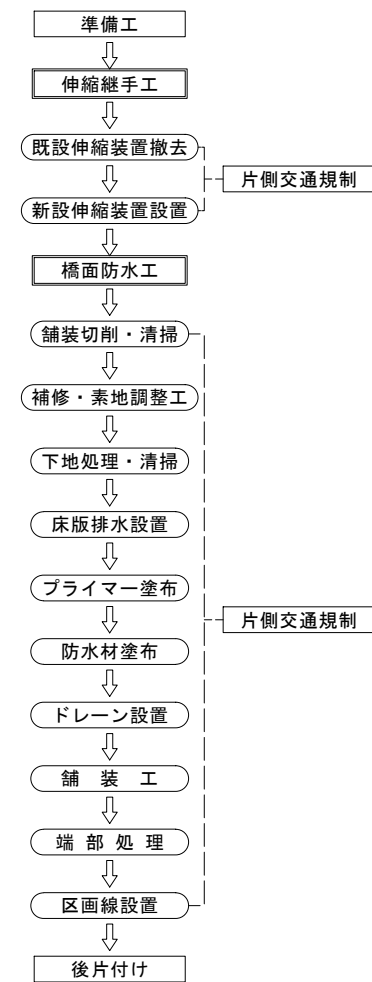
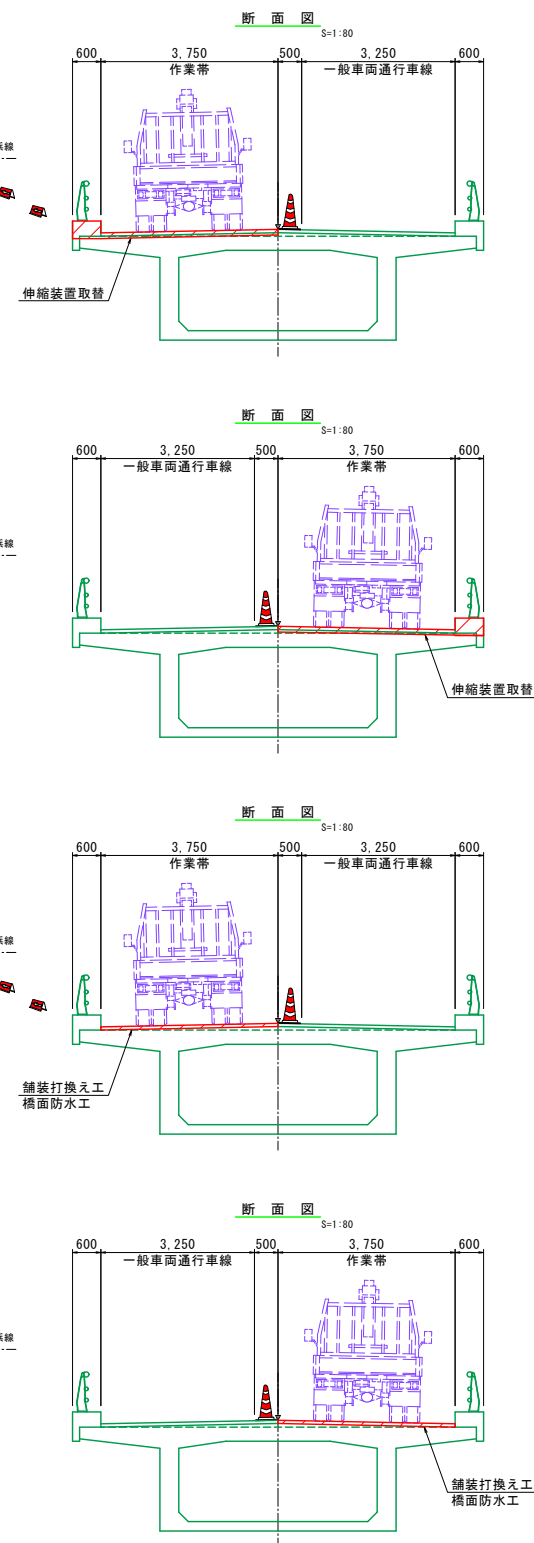
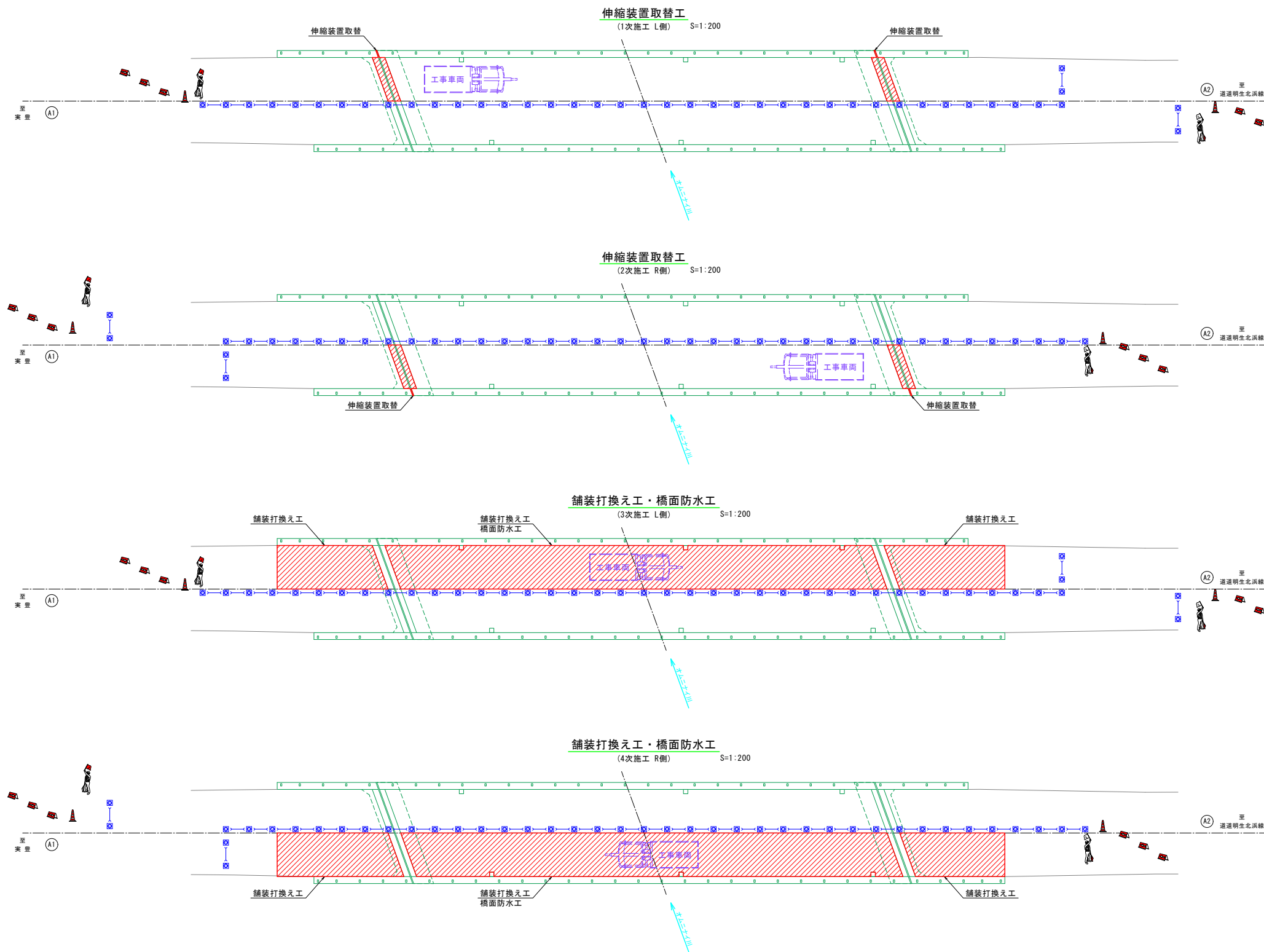
※注記

- ・本図面は、現地踏査より復元した図面であり、一部推定値も含まれている。
- ・施工にあたっては再計測を実施し、既設構造寸法を確認すること。
- ・図に示す仮設工設備は参考であり、工事の際には適宜詳細を検討すること。

橋梁名：ポント沢橋

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	仮 設 図 (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	13 / 21
作成年月	令和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網 走 市 役 所		

施工計画図
(参考図)



※注記

- ・本図面は、現地踏査より復元した図面であり、一部推定値も含んでいる。
- ・施工にあたっては再計測を実施し、既設構造寸法を確認の上、補修寸法を決定すること。
- ・作業は交通誘導警備員を配置した片側交互通行を基本とし、当日の作業終了後は速やかに交通解放を行うこと。

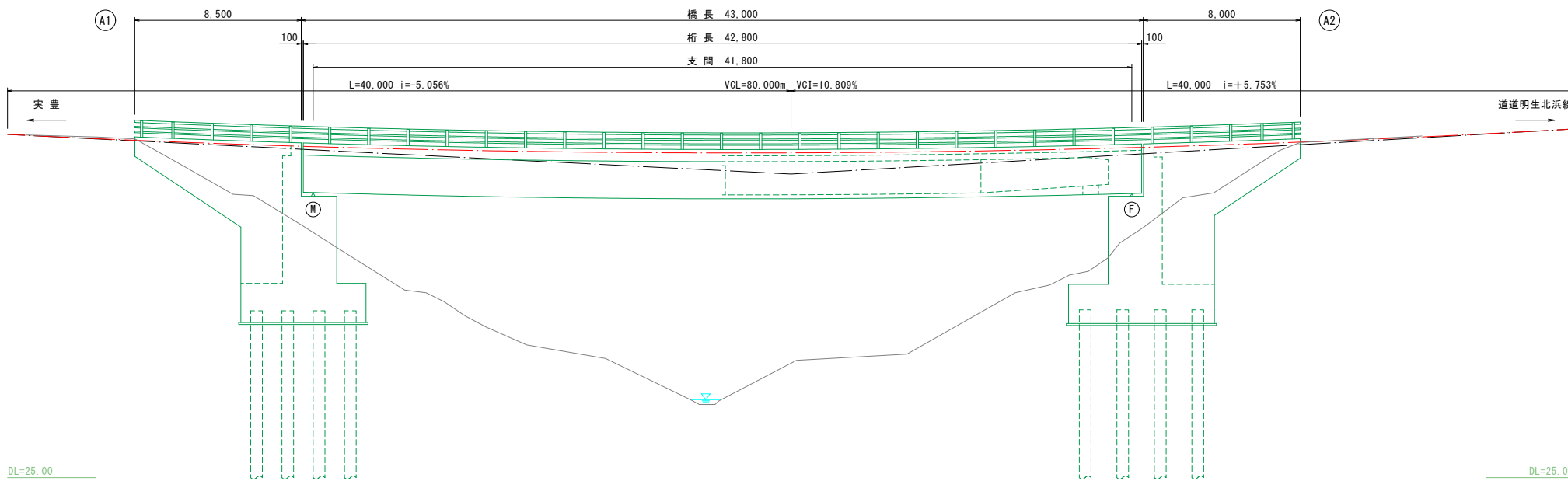
橋梁名：ポント沢橋

年度	令和6年度		
路線名	実登音根内線		
工事名	ポント沢橋補修設計委託		
図面名	施工計画図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	14 / 21
作成年月	令和6年12月		
会社名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網走市役所		

橋 梁 一 般 図

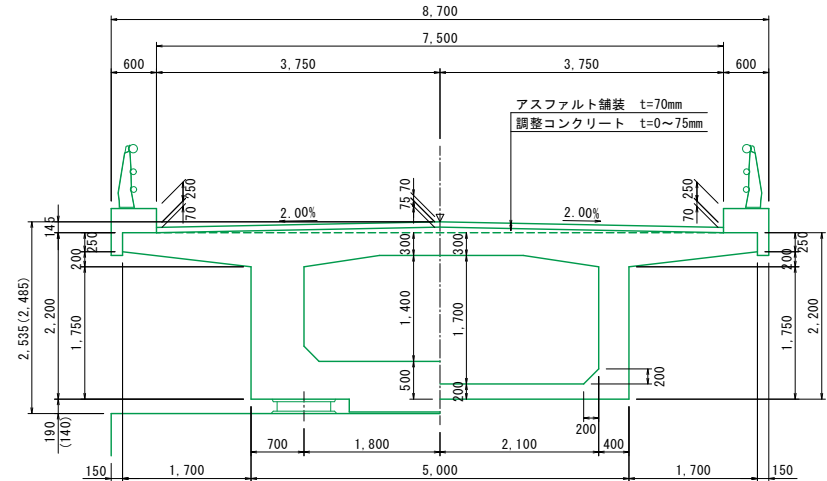
側 面 図

S=1:150



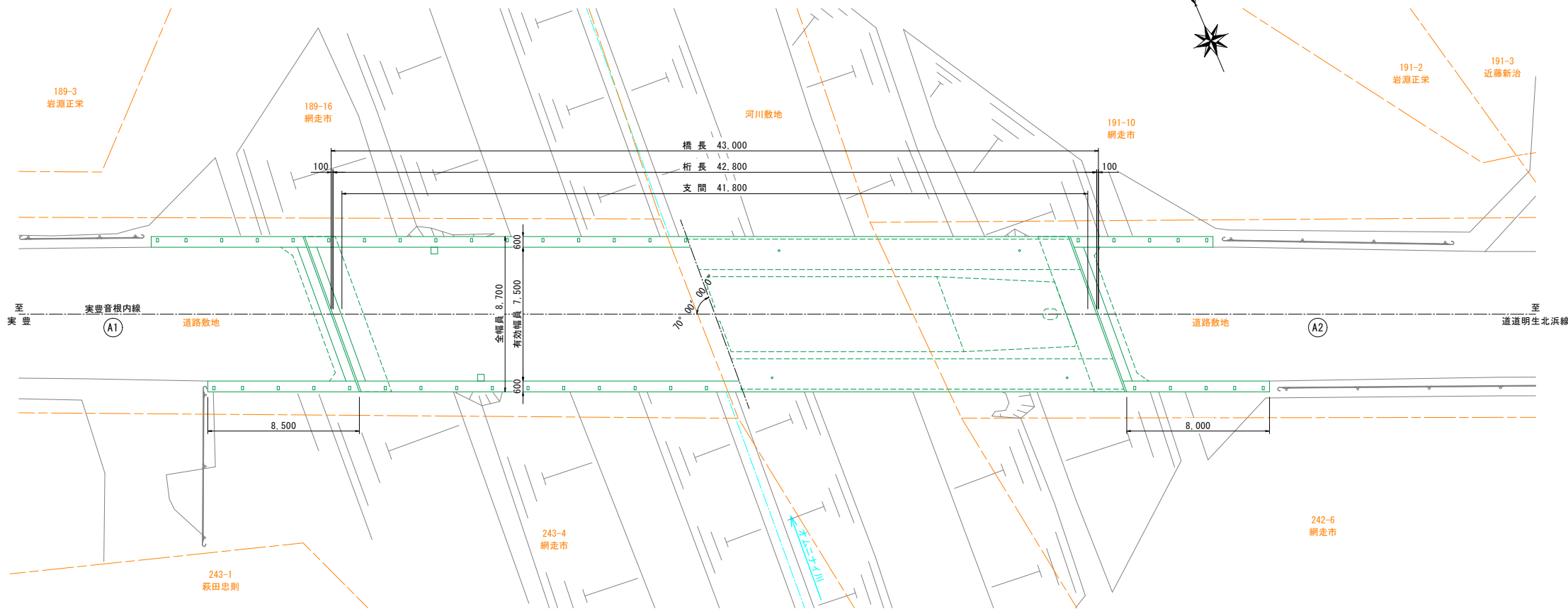
断 面 図

S=1:50



平 面 図

S=1:150



設 計 条 件	
道 路 区 分	第3種4級
上 部 構 造	PCポストテンション箱桁
下 部 構 造	逆T式橋台
基 礎	鋼管杭基礎
活 荷 重	A活荷重 (T L-25)
橋 長	43.000 m
桁 長	42.800 m
支 間 長	41.800 m
総 幅 員	8.700 m
有 効 幅 員	7.500 m
縦 断 勾 配	-5.056% +5.753% VCI=10.809% VCL=80m
横 断 勾 配	i = 2.00 %
雪 荷 重	100kgf/cm2
斜 角	70°00'00"
水 平 震 度	(躯体) kh=0.85×0.25=0.21
	(土砂) kh=0.85×0.20=0.17

※注記

- ・本図面は、現地踏査より復元した図面であり、一部推定値も含んでいる。
- ・施工にあたっては再計測を実施し、既設構造寸法を確認すること。

橋 梁 名 : ポント沢橋

年 度	令 和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	橋 梁 一 般 図		
縮 尺	図 示	図面番号	15 / 21
作成年月	令 和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網 走 市 役 所		

年 度	令 和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	損 傷 図 (1) (上部工) (主桁外面)		
縮 尺	図 示	図面番号	16 / 21
作成年月	令 和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコン		
事業者名	網 走 市 役 所		

橋梁名：ポント沢橋

損 傷 図 (1)
(上 部 工)
(主桁外面)

凡 例

ひびわれ 幅0.20mm以上

" 幅0.10mm以上0.20mm未満

" 幅0.10mm未満

ひびわれを伴う遊離石灰

舗装ひびわれ

遊離石灰

剥離・鉄筋露出

剥離・浮き

欠損・変形

漏水・漏水等による変色

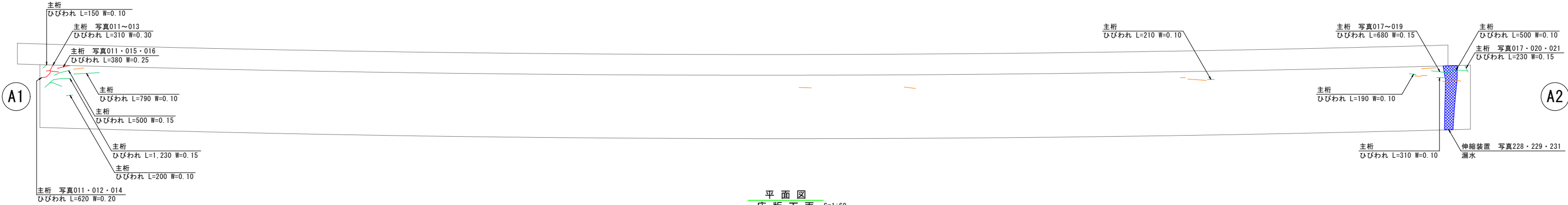
腐食

塗装劣化

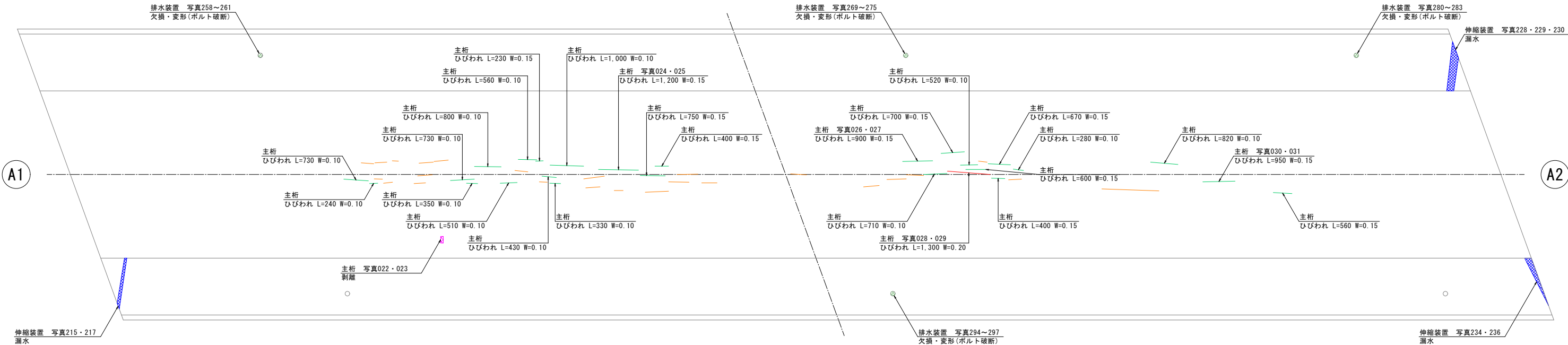
その他

注) 漏水は伸縮装置からの漏水を含む

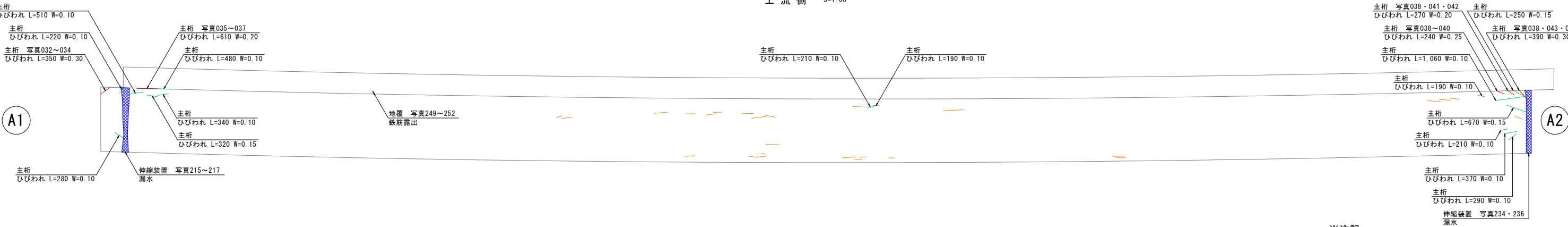
側 面 図 (L側)
下 流 側 S=1:60



平 面 図
床 版 下 面 S=1:60



側 面 図 (R側)
上 流 側 S=1:60



※注記
・本図面は、現地踏査より復元した図面であり、一部推定値も含んでいる。
・施工にあたっては再計測を実施し、既設構造寸法を確認すること。

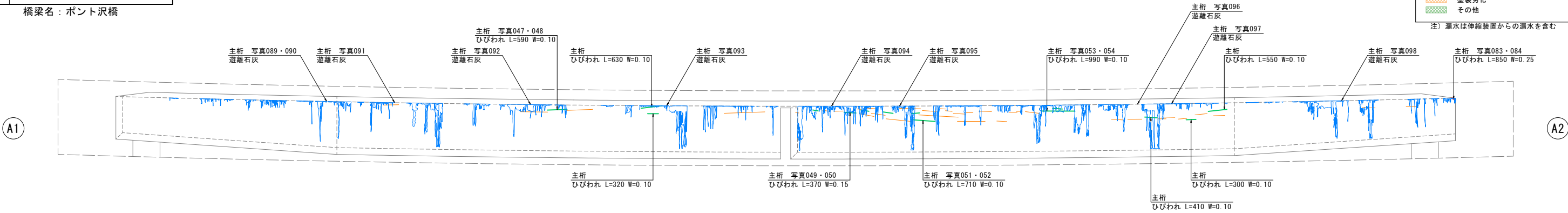
年 度	令 和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	損 傷 図 (2) (上部工) (主桁内面-1)		
縮 尺	図 示	図面番号	17 / 21
作成年月	令 和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコン		
事業者名	網 走 市 役 所		

橋梁名：ポント沢橋

損 傷 図 (2)
(上 部 工)
(主桁内面-1)

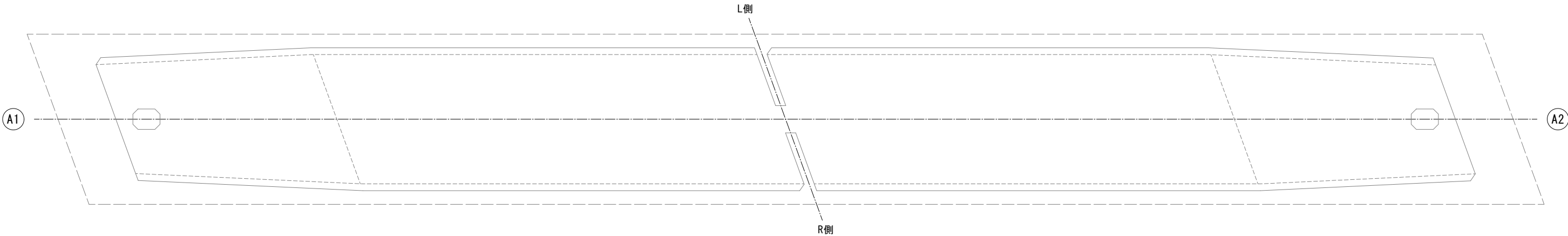
側 面 図 (L側)

S=1:60



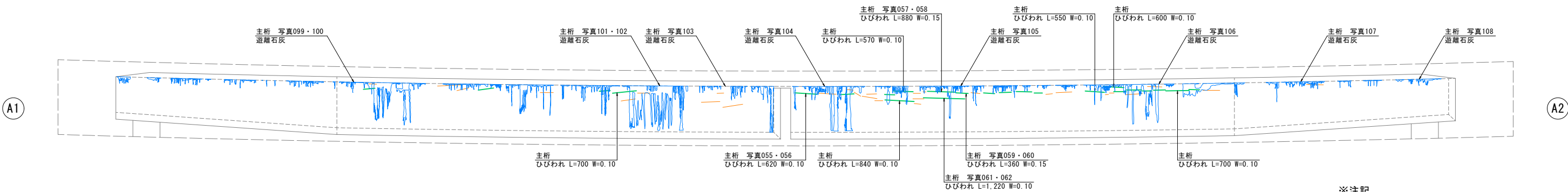
平 面 図

箱 内 床 面 S=1:60



側 面 図 (R側)

S=1:60



※注記

- ・本図面は、現地踏査より復元した図面であり、一部推定値も含んでいる。
- ・施工にあたっては再計測を実施し、既設構造寸法を確認すること。

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	損 傷 図 (3) (上部工) (主桁内面-2)		
縮 尺	図 示	図面番号	18 / 21
作成年月	令和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコン		
事業者名	網 走 市 役 所		

橋梁名：ポント沢橋

損 傷 図 (3)
(上 部 工)
(主桁内面-2)

平 面 図
箱 内 天 井 面 S=1:60

凡 例

ひびわれ 幅0.20mm以上

" 幅0.10mm以上0.20mm未満

" 幅0.10mm未満

ひびわれを伴う遊離石灰

舗装ひびわれ

遊離石灰

剥離・鉄筋露出

剥離・浮き

欠損・変形

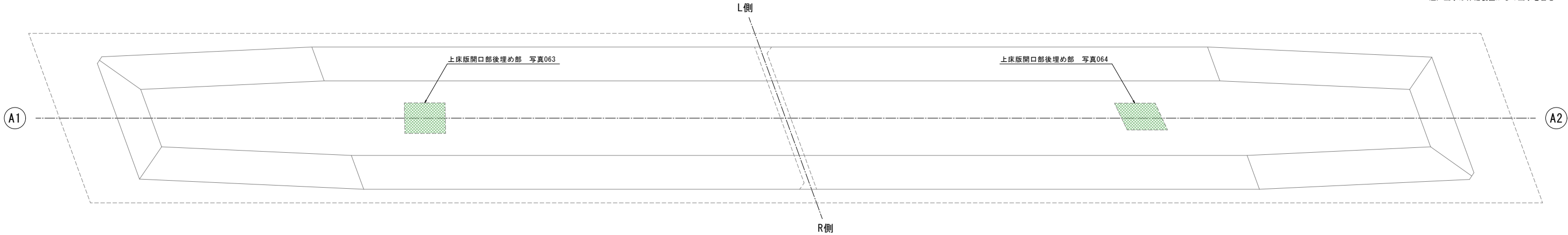
漏水・漏水等による変色

腐食

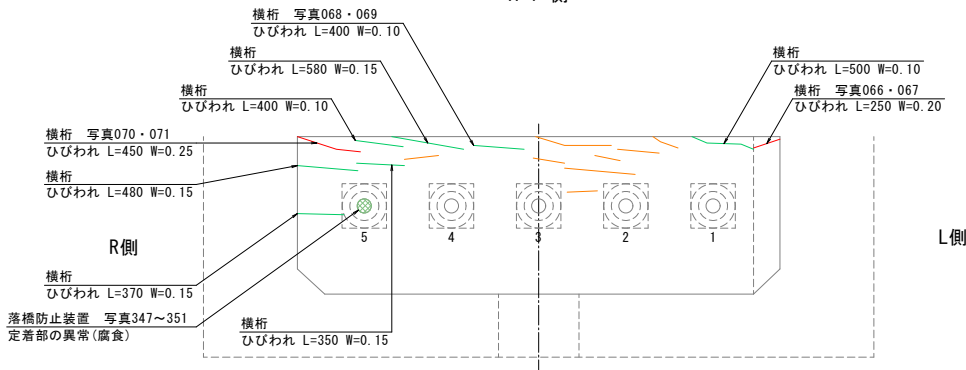
塗装劣化

その他

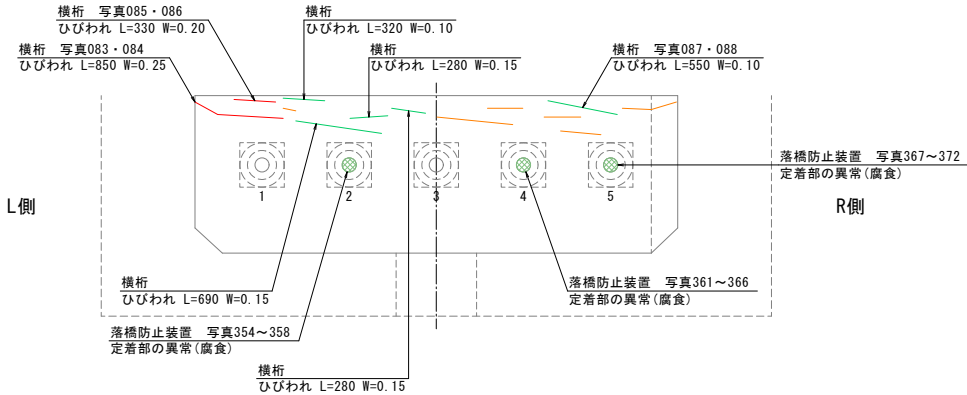
注) 漏水は伸縮装置からの漏水を含む



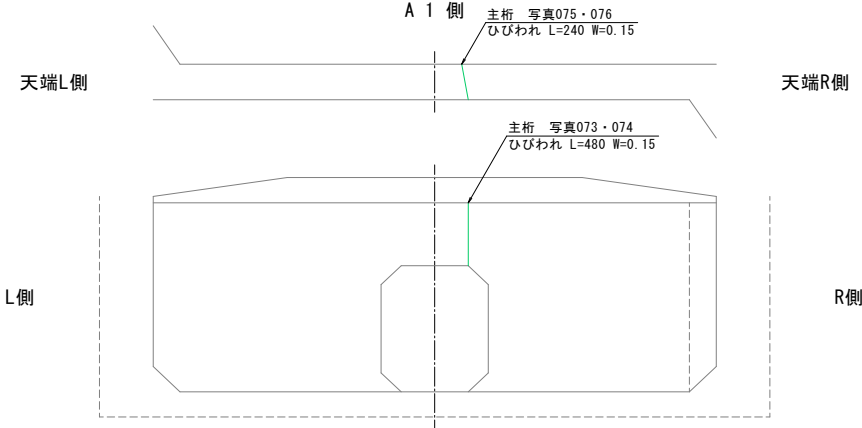
断 面 図
端 部
A 1 側 S=1:30



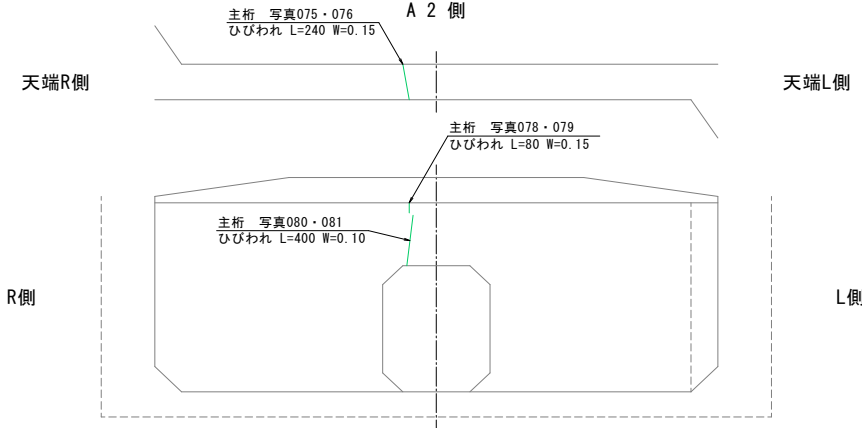
断 面 図
端 部
A 2 側 S=1:30



断 面 図
隔 壁
A 1 側 S=1:30



断 面 図
隔 壁
A 2 側 S=1:30



※注記
・本図面は、現地踏査より復元した図面であり、一部推定値も含んでいる。
・施工にあたっては再計測を実施し、既設構造寸法を確認すること。

年 度	令 和 6 年 度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	損 傷 図 (4) (上部工) (橋面部)		
縮 尺	図 示	図面番号	19 / 21
作成年月	令 和 6 年 12 月		
会 社 名	株式会社 ムラコン		
事業者名	網 走 市 役 所		

橋梁名：ポント沢橋

損 傷 図 (4)
(上 部 工)
(橋 面 部)

凡 例

ひびわれ 幅0. 20mm以上

〃 幅0. 10mm以上0. 20mm未満

〃 幅0. 10mm未満

ひびわれを伴う遊離石灰

舗装ひびわれ

遊離石灰

剥離・鉄筋露出

剥離・浮き

欠損・変形

漏水・漏水等による変色

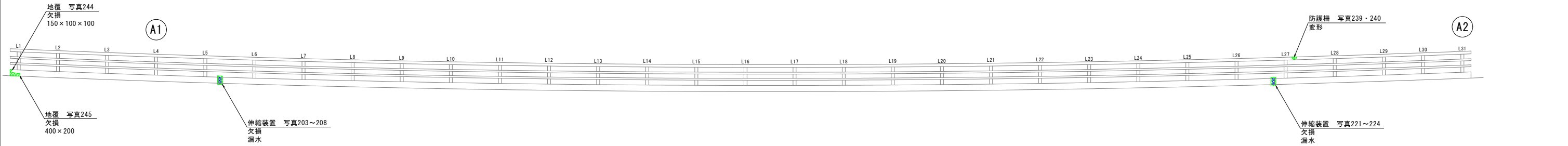
腐食

塗装劣化

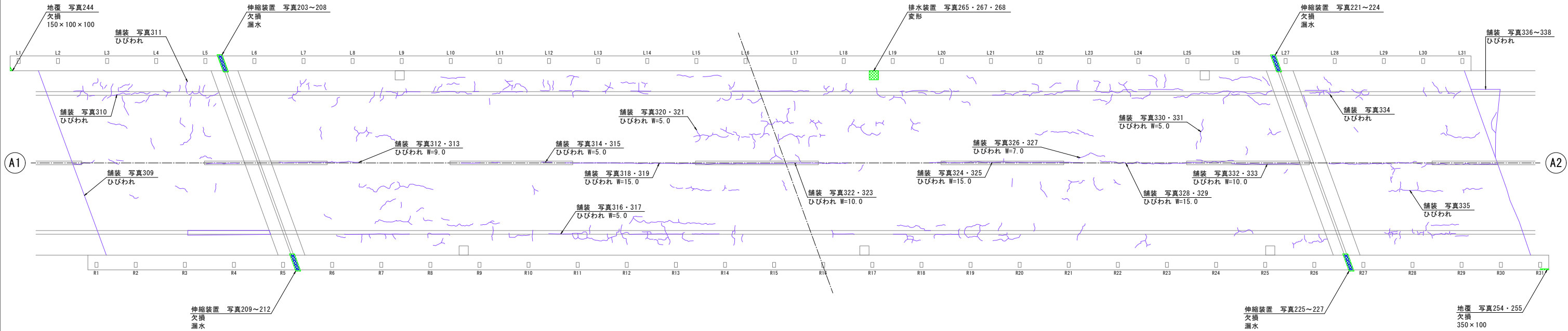
その他

注) 漏水は伸縮装置からの漏水を含む

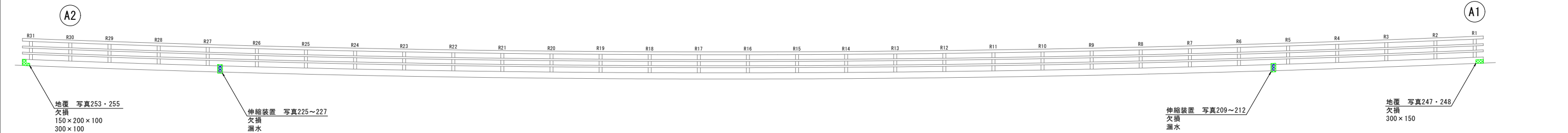
側 面 図 (L側)
下 流 側 S=1:80



平 面 図
S=1:80



側 面 図 (R側)
上 流 側 S=1:80



※注記
・本図面は、現地踏査より復元した図面であり、一部推定値も含んでいる。
・施工にあたっては再計測を実施し、既設構造寸法を確認すること。

損傷図(5)
(下部工)
(A1)

側面図
上流側(R側) S=1:50

正面図
S=1:50

側面図
下流側(L側) S=1:50

凡 例

ひびわれ 幅0.20mm以上

" 幅0.10mm以上0.20mm未満

" 幅0.10mm未満

ひびわれを伴う遊離石灰

舗装ひびわれ

遊離石灰

剥離・鉄筋露出

剥離・浮き

欠損・変形

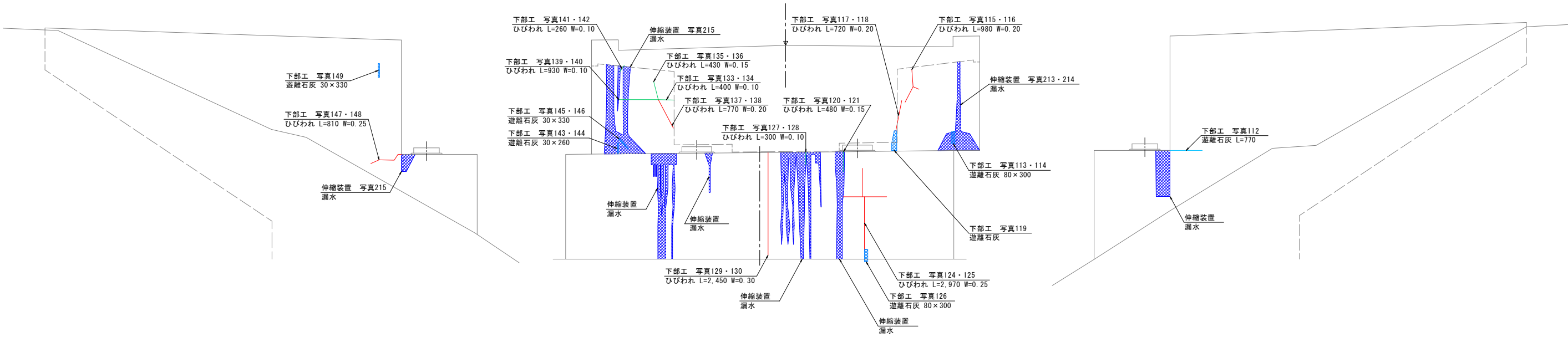
漏水・漏水等による変色

腐食

塗装劣化

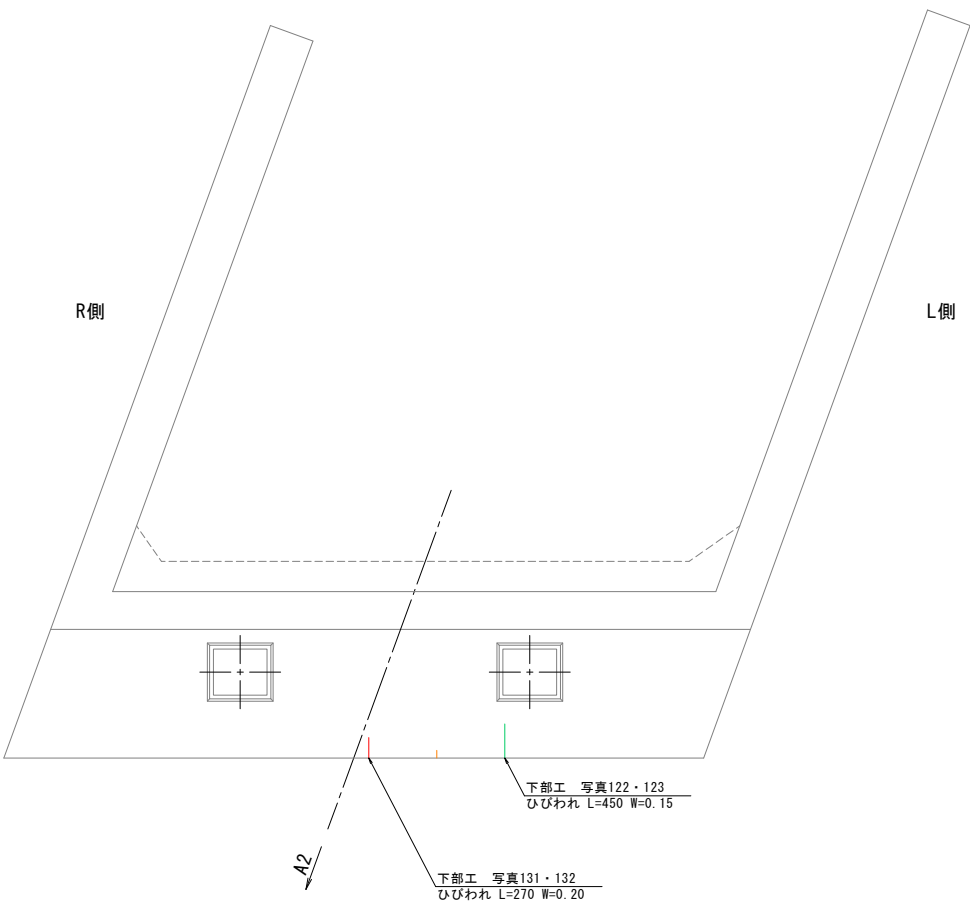
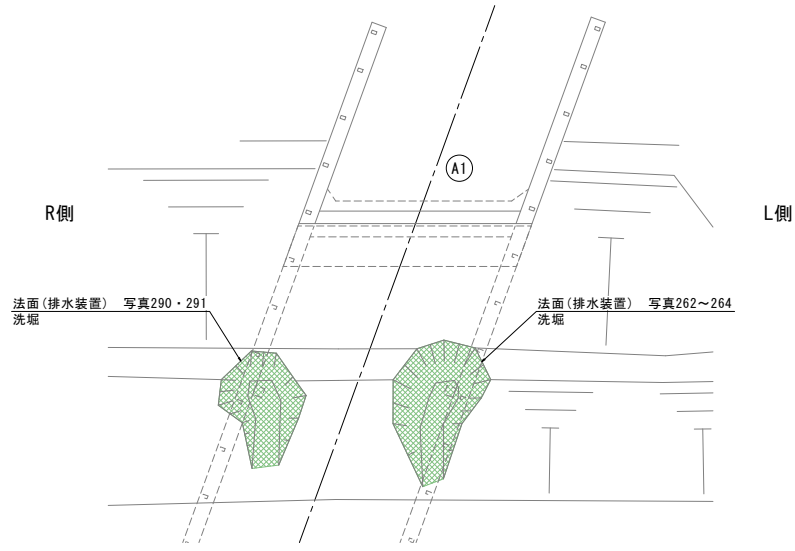
その他

注) 漏水は伸縮装置からの漏水を含む



平面図
(桁下部) S=1:150

平面図
S=1:50



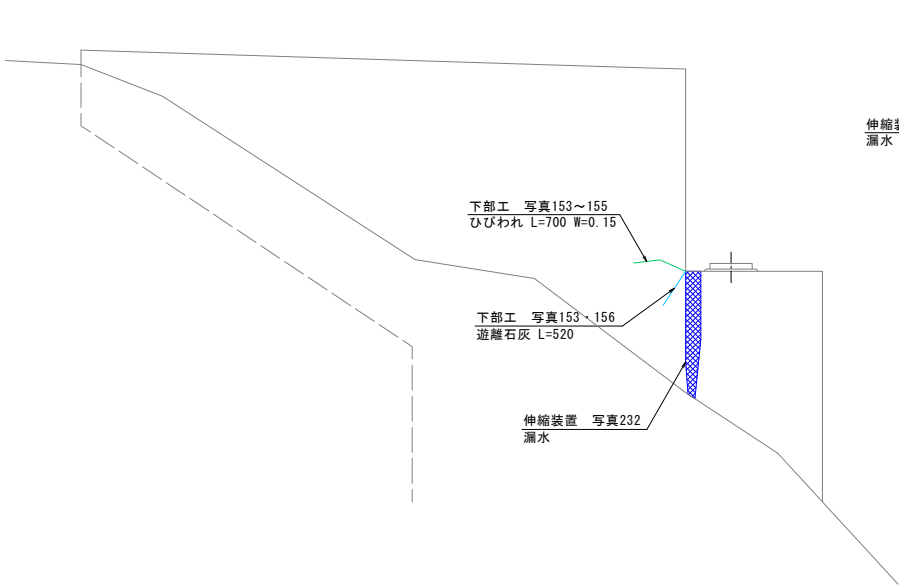
※注記

- ・本図面は、現地踏査より復元した図面であり、一部推定値も含んでいる。
- ・施工にあたっては再計測を実施し、既設構造寸法を確認すること。

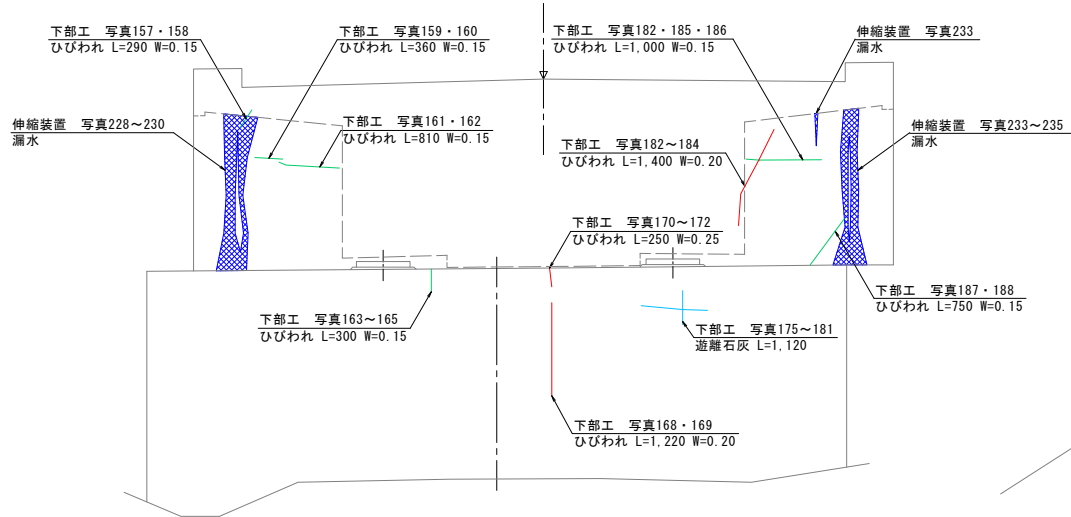
橋梁名：ポント沢橋			
年 度	令和6年度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	損 傷 図 (5) (下部工) (A1)		
縮 尺	図 示	図面番号	20 / 21
作成年月	令和6年12月		
会 社 名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網 走 市 役 所		

損傷図(6)
(下部工)
(A2)

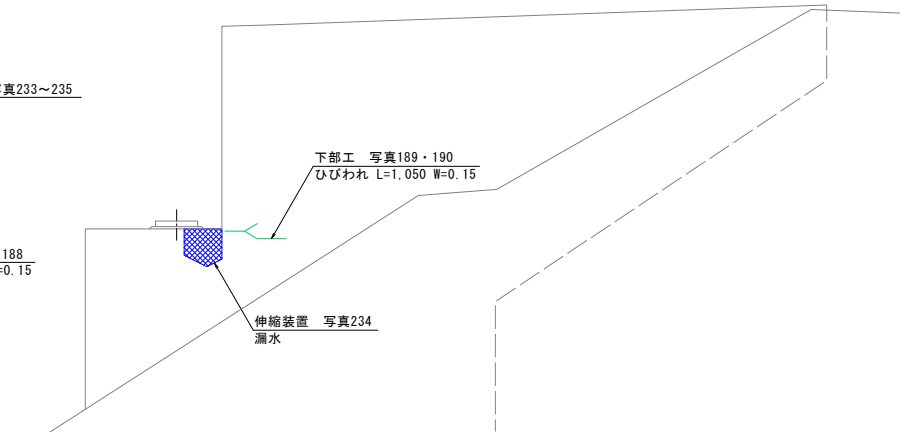
側面図
下流側(L側) S=1:50



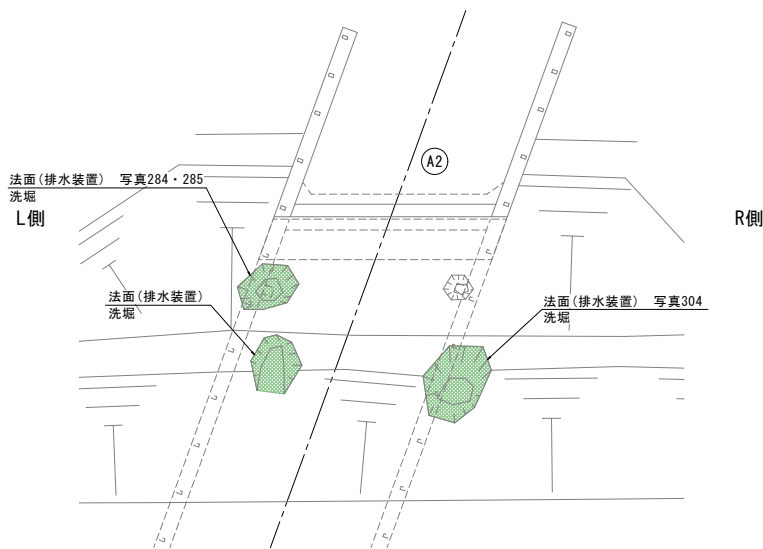
正面図
S=1:50



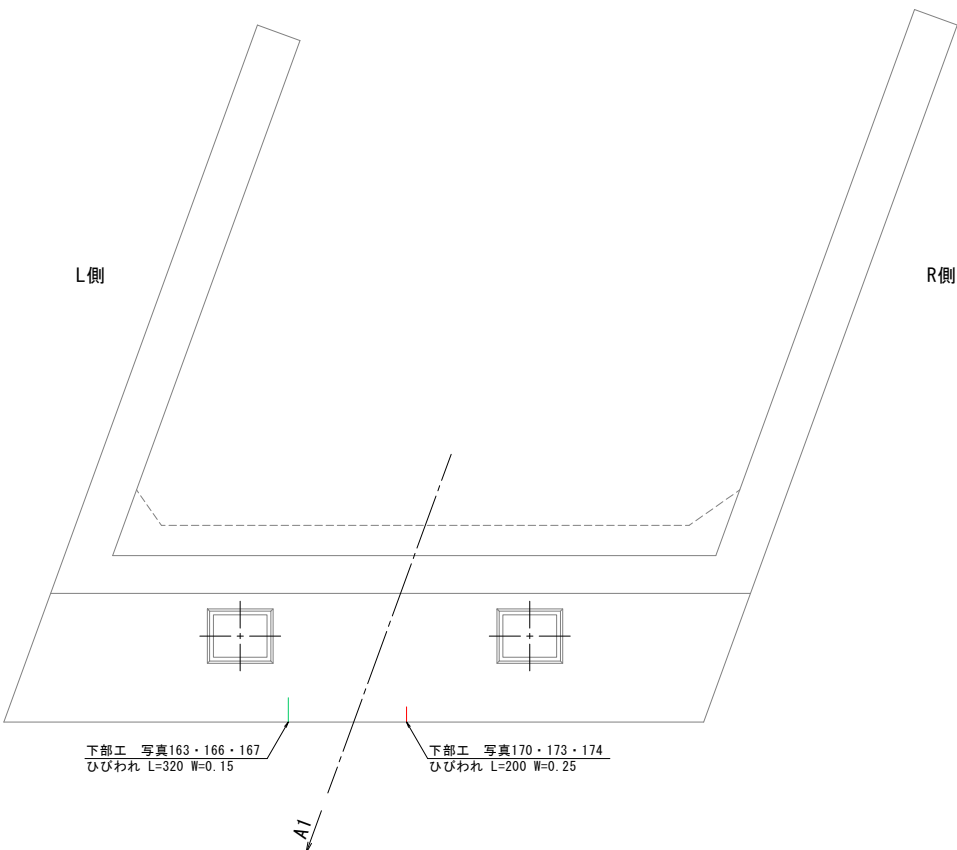
側面図
上流側(R側) S=1:50



平面図
(桁下部) S=1:150



平面図
S=1:50



凡 例	
ひびわれ 幅0.20mm以上	
" 幅0.10mm以上0.20mm未満	
" 幅0.10mm未満	
ひびわれを伴う遊離石灰	
舗装ひびわれ	
遊離石灰	
剥離・鉄筋露出	
剥離・浮き	
欠損・変形	
漏水・漏水等による変色	
腐食	
塗装劣化	
その他	

注) 漏水は伸縮装置からの漏水を含む

※注記

- ・本図面は、現地踏査より復元した図面であり、一部推定値も含んでいる。
- ・施工にあたっては再計測を実施し、既設構造寸法を確認すること。

橋梁名：ポント沢橋

年 度	令和6年度		
路 線 名	実 豊 音 根 内 線		
工 事 名	ポント沢橋補修設計委託		
図 面 名	損 傷 図 (6) (下部工) (A2)		
縮 尺	図 示	図面番号	21 / 21
作成年月	令和6年12月		
会 社 名	株式会社 ムラコシ		
事業者名	網 走 市 役 所		